

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		観光名所（従業員）	来客数の動き	・利用客の状況を見ると、いつ緊急事態宣言が出るかと恐る恐る過ごしていた3か月前の8月と比べて25%ほど増加している。国内の団体旅行客も徐々に増えてきており、景気が上向いていることを実感している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、商店街の来街者も徐々に増え始めている。ただ、新型コロナウイルス発生以前の状態には戻っていない。これから少しずつ以前の状態に近づいていくとみられるが、客の動向によくつかめない部分はまだある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・少しずつ客の動きが上向いてきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、客足が少しずつ回復してきている。肌感覚ではあるが、来客数は以前の7～8割程度まで戻っている。夜の居酒屋なども予約が順調に入り始めており、週末の金曜、土曜は予約を取りづらい状況にまでなった。ただ、一次会で終わりというパターンが多く、二次会、三次会という流れにはなっていないことから、厳しい状況が依然として続いている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・少しずつだが青果物の輸出が伸びてきている。
		一般小売店 〔酒〕（経営者）	単価の動き	・販売量はいまだに弱含みでの推移となっているが、前月に続き高額のシャンパン、ワインが好調であり、全体の売上をけん引している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・11月の売上は前年と比べて大きく伸びている。ただ、前年は新型コロナウイルスの影響で売上を大きく落としていた時期であり、前々年の水準までには回復していない。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後から来客数が順調に伸びている。それに伴い買上客数も増加傾向にある。
		百貨店（営業販売促進担当）	来客数の動き	・来客数が前年から2けたの伸びとなっており、改善の兆しがみられる。また、衣料品も前月と比べて動きが出てきている。ただ、客単価が低下していることから、来客数ほどの売上アップがみられない。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・来客数の推移を前年比で見ると、8月が83%、9月が91%、10月が95%、11月が26日時点で95%となっており、安定した動きになってきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・前年11月は感染拡大防止に向けた集中対策期間となっていた時期であり、その分客が戻ってきている。また、国内の各業態でブラックフライデーがセールスの企画として浸透してきており、年間でもトップクラスの売上を稼ぎ出すほどに成長している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響による減産が改善に向かっていることから、当社の売上も回復しつつある。また、コロナ禍に伴う緊急事態宣言が解除されたことで、観光関連や飲食店などの活気が戻りつつあることもプラスである。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで、3か月前と比べると販売量が上向いてきている。ただ、景気が良くなったと感じるほどの販売量には達していない。
		その他専門店 〔造花〕（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後、来客数や客の購入金額が上向いてきている。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ワクチン接種率の向上に伴って新型コロナウイルスの新規感染者数が劇的に減少していることで、これまで外食を控えていた人が少しずつ外出するようになり、週末の来客数が増加している。また、夜間の営業を再開したこともプラスとなっている。景気が好転する兆しがみられ始めている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・地方自治体による各種支援事業の効果で、個人旅行者、ビジネス客が回復する兆しがみられ始めている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・10月中旬以降、修学旅行などの団体旅行が動き出してきている。前年はGo To Travelキャンペーンによる需要回復が顕著にみられた時期であったため、前年比では回復基調にみえないが、10月後半から11月にかけての地元空港利用者は観光需要、生活需要のいずれも上向いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新規感染者数が落ち着いていることに加えて、北海道独自の宿泊旅行商品の割引制度の効果もあり、販売量が増えている。依然として道内旅行が中心ではあるが、3か月前と比べて道外旅行も増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後から来客数や電話による問合せが増えてきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・11月の売上について、稼働しているタクシー1台当たりでみると、コロナ禍以前の前々年からはマイナス20%であるものの、前年からはプラス30%と回復傾向にある。ただ、コロナ禍の影響による乗務員不足によってタクシーの稼働率が低下しており、会社の収入は前々年比マイナス30%と厳しい状況が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・日中の客による利用も、夜間の飲食店帰りの客による利用もやや増加してきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・乗降客数が前々年の70%程度まで回復するなど、少しずつ上向いてきている。ただ、新型コロナウイルス発生以前の水準まで回復するには数年掛かりそうだ。
		タクシー運転手	来客数の動き	・北海道は新型コロナウイルスの影響で大変厳しい状況にあったが、ここに来て新規感染者数が大分減ってきたことで、人の動きが若干増えてきている。地元客の動きも水準としては低い、前年と比べると多少は増えている。ただ、第6波への警戒はまだ必要である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少していることから、人の動きが徐々に回復傾向にある。前年比も110%まで回復している。ただ、海外での感染状況をみると、いつ第6波が生じるのかと心配である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることから、食事や旅行に出掛ける人が増えており、それに伴って髪のおしゃれにも気を遣う人が増えている。関連商材の売上も増加している。
		その他サービスの動向を把握できる者【フェリー】（従業員）	来客数の動き	・年末に近づくとつれて、工事関連の輸送が増加している。このままの状況で年を越すものとみられる。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・ウッドショックの影響で木材、建材などの価格が上昇しており、利益を押し上げている。その反面、原油高の影響でガソリンなどが値上がりし、コスト高になってきている部分もある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから2か月が経過したが、当区域において景気が上向いている兆候は確認できない。平日の日中における歩行者は少ないままであり、夜型飲食店においても店舗外から確認する限り利用客の増加はみられない。また、道内他都市からの来街者は、区域内の駐車場の利用状況を見る限り増加しているとは判断できない。
		一般小売店【土産】（経営者）	販売量の動き	・道外客、海外客の利用はいまだにほぼゼロであるが、11月に入っても雪がないこと、9月に東京で新規出店したことなどから、全体売上は増加している。
		一般小売店【土産】（経営者）	お客様の様子	・観光客は少しずつ戻りつつあるものの、売店でのご買物やレストランでの飲食にまで人の動きが広がっていない。なるべく長い時間店内に滞留しないようにしたり、余計な買物をしないという客の様子がうかがえる。ここ最近の特徴として、特に年配客が増えてきていることが挙げられる。
		スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がいまだにみられることから、景気は下げ止まりの状態のままで推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（従業員）	来客数の動き	・コロナ禍によって落ち込んだ来客数の回復がみえてこない状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・原油価格の高騰やふだん消費する食品の値上げが相次いでいることから、家計の節約志向がみられ、消費が鈍っている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・20時以降の来客数に伸びがみられない。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・外出が増えていることで、前年と比べてアウター、コートの動きが改善しているが、スーツが稼働していないことから、客単価が非常に悪い。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も少なくなったにもかかわらず、購買に結び付いてない。下見をしている客が多いと感じる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・11月はタイヤ交換の時期であり、販売台数の目標が低く設定されているため、当店及び会社全体では目標を達成することができている。ただ、1～3月の繁忙期を迎えると、販売台数の目標が引き上げられるため、厳しい状況となる。
		自動車備品販売店（店長）	お客様の様子	・来客数、客単価の2点から判断すると、3か月前と大きな違いはみられず、売上もそれほど変わっていない。冬タイヤ購入者が若干増加しているものの、景気改善につながるほどのものではない。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染対策でマスクを常備装着するようになってから2年近くが経過し、客のストレスが高まっている様子が感じられる。年末商戦への影響が心配される。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・売上は回復しつつあるが、前々年の水準の5割にとどまるなど、前月と余り変わっていない。昼はまずまず良いが、夜は少人数での来店が多いこともあり、来客数がそれほど増えていない。振り客もほとんどみられない。クリスマス商戦については、ディナーの予約が入ってこない一方、有名洋菓子店のケーキ予約が人気なようであり、家庭での巣籠り傾向がうかがえる。安い価格で若い客が多い店も、好調なのは夜の早い時間帯だけと聞く。そろそろスタッフを再雇用又は新規雇用したいと考えているが、会社の対応は渋い。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・感染拡大が終息し、緊急事態宣言も解除されたことから、人流が回復する機運が高まっているものの、再度の感染拡大への不安があることから、実際の動きにつながってこない。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・北海道による宿泊旅行商品の割引制度などはあるものの、道内客の利用が中心となっていることから、予約が週末に偏っており、集客も限定的となっている。全国からの集客効果が期待できるGo To Travelキャンペーンが始まらない限り、需要回復は難しい。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・各種施策の効果がまだ出ていないため、景気は変わらない。第6波への不安もある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況がやや落ち着いていることから、外出する人が増えており、それに伴って美容室の来客数もやや増えてきている。ただ、完全に元の生活に戻るまでにはまだまだ時間が掛かる。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くにつれて、飲食店や百貨店への客足が増加しており、その影響で食品スーパーでの買い回りが減少している。特に買上点数の減少が目立っている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・9月頃から商材の仕入価格が上がってきている。10月にはたばこも値上がりし、商品単価が上昇していることから、客の買上点数が少なくなっている。欲しくても買わずに我慢している様子がうかがえる。
		スーパー（役員）	販売量の動き	・当店では緊急事態宣言が解除されてから、夜間の売上が落ちてきている。外食する人が多くなり、家で食事する人が減少したためとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・周辺の飲食店の営業時間をもても、いまだに1～2時間の短縮営業を行っている店が多い。コロナ禍以前の状況とはほど遠く、夜間の客の動きはまだまだ回復しきっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、行動範囲が広がっており、それに伴って消費が拡大するとみられるが、不漁や天候要因などによるマイナスの影響が大きいいため、景気はやや悪くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車両の投入もあり、売上が伸びるとみていたが、見込みほどの伸びはなかった。ガソリンや食品などの価格上昇などによって先行きへの不安が高まっていることで、耐久消費財である自動車の購入が後回しになっているとみられる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・原油価格の高騰に伴う石油製品価格の上昇により、節約志向が強まっており、販売量が減少傾向にある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・少しずつ売上は良くなっているが、コロナ禍以前の3～4割程度の水準にとどまっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・運送収入が回復する兆しはみられるものの、夜間の人出、観光需要などは個人利用が中心となっていることもあり、力強い回復とはなっていない。
		通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・競合相手が端末価格で勝負してくるなか、半導体不足に伴う深刻な在庫不足の影響によって、価格面で対抗できる同等の通信機器の納入が大幅に遅れており、需要を取り込むチャンスを失っている。客の流出も増えている。特に大型商業施設などでの出張販売において、集客で負けるケースがみられる。
	x	-	-	-
企業 動向 関連 (北海道)		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・11月の販売量は前年比マイナス17%であったが、3か月前の8月の販売量は前年比マイナス40%だったことから、景気は改善傾向にある。
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで良い傾向となっている。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・例年と比べて降雪が少ないことから、各現場が順調に工事追い込み期を迎えている。完工高は年度計画には届かないものの、好天による工期短縮と追加工事の上積みで、利益は計画達成のめどが立った。
		その他サービス業 [ソフトウェア開発]（経営者）	競争相手の様子	・同業から技術者を借りようとしても、手の空いている人材や空きそうな人材がほとんどいない。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや回復してきているが、新型コロナウイルス発生以前の水準まではまだまだである。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・11月の本州向け生乳の輸送量は前年の9割程度であり、4か月連続での前年割れとなった。一方、バターと粉乳の倉庫在庫量は前年から2～4割のアップとなっている。飲料を中心とした一般雑貨の荷動きも始めているが、水準としてはまだまだ物足りない状況が続いている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注量が大きく変化するような要素が見当たらない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・半導体不足の影響で新車の販売台数が大きく落ち込んでいる。また、原油価格の高騰により、ガソリン、灯油などが値上がりし、持ち直し基調にあった個人消費の重荷になっている。こうした背景から足元の道内景気は足踏み傾向がみられ、3か月前と変わらない状況となっている。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響によって経済が落ち込んでいるなか、感染状況が落ち着きをみせていることで各種の規制も緩和しつつある。ただ、新型コロナウイルスへの警戒心がまだまだ強いいため、景気は一足飛びに回復するものではなく、徐々に少しずつ回復することになる。
		司法書士	取引先の様子	・例年11月は冬期間に入るため、取引先の建築業や不動産業においても8月頃と比べて仕事量が減る傾向にあるが、今年は8月が緊急事態宣言の期間中であったことから、その期間の仕事がずれ込んできている。その結果、コロナ禍においても例年と変わらない仕事量がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・現状、都市部は民間需要による建築工事があり、まずまずの水準で推移している。一方、地方は公共工事の案件があるものの、今一つである。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上は引き続き前年並みで推移している。来年度については、景気対策として公共事業が展開される見込みがあることから、業績が堅調に推移するとみられる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	受注量や販売量の動き	・在庫不足や納期遅れなどが生じており、発注してもすぐに納品されない状況となっている。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・11月に入りベース商材の動きが鈍くなってきているが、物件の納入などはできており、売上は大きく落ち込んでいない。ただ、景況感としては余り良くない。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・建設関係において、資材価格の上昇に加えて、職人などの労働力不足が懸念されている。中心部の再開発に伴って、こうした傾向が一層加速することが懸念されるが、施工各社では対策が採れていない状況にある。再開発に携わっている企業はまだ良いが、携わっていない企業では仕事が1つも取れない状況に追い込まれるのではと危惧している。
	x	-	-	-
雇用関連 (北海道)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向で推移している。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少を受けて、ここ2年の減収を回復すべく企業が人材の採用に動き出している。また、人材側も転職に向けて動き出している。当社が求人企業を紹介し、内定が出た場合も、他の求人企業からも内定を得ている求職者数が多く、内定辞退が前年よりも増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・中心部の繁華街における飲食店などの様子を見ると、今年の春～夏に比べれば客足は戻ってきている。ただ、その伸びは限定的であり、期待していた求人件数も伸び悩んでいる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・飲食店や小売店などの募集が徐々に回復してきている。また、これから国内の観光需要が拡大するとみられるため、宿泊施設や道内観光地への人が徐々に戻ってくるとみられることもプラスである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、業種を問わず求人ニーズが高まってきている。経済活動が堅調に動き出している様子がうかがえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地における10月の有効求人倍率は0.88倍であり、3か月前と比べると0.03ポイント上昇している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・道内私大の来春新卒者の内定率は89%程度となっている。新型コロナウイルス発生以前の2020年の91%程度には及ばないものの、2021年と比べると3～4%ほど高く推移している。飲食業、旅行業など、まだまだ先行きが不透明な業界では慎重な姿勢が続いているものの、全体的にはようやく明るさがみえてきた。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・当地では新型コロナウイルスのクラスターが多発するなど、新規感染者がいまだに多くみられる。繁華街のイベントも中止になっており、特に緊急事態宣言の解除に伴って好転が期待された飲食業や観光業界の動向に水を差している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているが、当地においては一定の感染者が出ている状況にある。そのため、3か月前と比べて有効求人倍率に特段の変化もみられず、雇用情勢は大きく変わっていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月の有効求人数は前年から0.11ポイントの増加となった。一方、新規求人数は前年とほぼ同水準で推移している。
		*	*	*

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)		百貨店（買付担当）	お客様の様子	・感染状況が落ち着き、2～3人や家族連れ等複数人での来店が増加傾向にあり、数か月前には見られなかった状況となっている。また、購買意欲も上がってきており、店舗セールを中心に売上も上昇している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・大幅な制限緩和により地元客も県外客も本格的な購買が始まっている。高額ブランド商品のニーズが多い。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・来客数が増えている。特に郊外店舗の週末の集客が大きく伸びている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたことに加え、店舗の改装リニューアルが相次ぎ、客がかなりの勢いで戻ってきている。今まで消費が抑えられてきたことの反動もあると考えられる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・11月になってから明らかに来客数が増えている。土日の昼を中心に満席になる日もみられるようになってきた。いかに感染の状況が影響していたのかが分かる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されていたときよりは良くなっている。ただし、以前のような状況には戻っていない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・客はやや慎重な感じもあるが、景気刺激策もあり動きは良くなってきている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前月と同様、3か月前と比べて来客数は150%増加している。休日平日区別のない日々が続いている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・県外からの注文が戻ってきている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・商店街で売出した割増商品券が出回り始め、客が高額商品を苦もなく買っていくという状況がこのところ続いており、客単価が上がっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・来客数が増えているわけではないが、高額な限定商品の動きが順調である。化粧品もヘルスケア商品も順調であり、買い渋りなどはみられない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・国や自治体の様々な制限解除により、徐々に各企業独自の制約も緩み、飲食店の夜の予約が少人数ではあるが入るようになってきた。それに伴い、アルコール類の販売量が僅かではあるが増加傾向にある。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで様々な集客の施策を打ち出すことができ、来客数アップにつながっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いており、緊急事態宣言等が解除されて周辺での人の動きが活発になってきたことで、来客数が前年並みに回復してきている。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・新規感染者数の減少に反比例して来客数が増加し、販売量も全体的に増えている。特に、ここに来て気温低下の影響や少しずつ会合の場も増えていることもあって、重衣料が回復してきている。高額商品は引き続き好調である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・全国的な新型コロナウイルス感染に関する規制緩和以来、来客数、特に夜間帯の来客の増加が目立つようになり、売上もそれに準じて伸びてきている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・販売単価の増加により売上は微増傾向にある。しかし、来客数は減少が続いており、先行きは見通せない状況である。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響はまだ多少あるが、少しずつ人の動きが良くなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・盛夏の天候不良により来客数が減少した3か月前と比較し、多少の回復がみられる。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が多少減少して客足が戻りつつある。また、家飲みをする人が増えたため、日本酒の頒布会が好調であった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、通常どおりの経済活動が行われるようになってきた。たとえば結婚式の礼服の用意とか、出張といったニーズが増えてきたことが来客数の増加につながっている。
		衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・スーツなどビジネス需要は不安定であるが、ふだん着需要は新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い確実に増えてきている。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・今月は販売量も単価も良かったため販売金額が増加している。ただし、オーダーメイド商品なので、今月納品の商品は半年前や1年前に受注したものである。
		その他専門店 [食品](経営者)	来客数の動き	・8月末の緊急事態宣言発出時には人々の動きが止まった。そのときの状況と比べれば良い方向に向かっている。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・飲食店や観光地のホテルから少しずつではあるが注文が入ってきている。特に道の駅などはかなり混雑してきているようで、人員の確保等で制服の注文がある。まだまだ良くなったとは言いが、それでも少しずつ回復傾向にある。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・12月の予約数が伸びてきている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・10月1日に緊急事態宣言が明けてからはやや良くなってきているが、例年と比べて年末に向けての忙しさはまだない。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・11月に入ってから宿泊補助による効果が現れ客足が伸びている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊客数が前々年と同等になっている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・3か月前との比較であれば国内個人旅行の予約販売は確実に増加傾向にあり、旅行業界においてはやや上向き傾向にある。しかし、県内や近県を中心とした宿泊単品の申込みが中心であり、極端な販売額増加にまでは至らない状況が前月から継続中である。団体旅行では修学旅行等で教育団体が動いているものの、一般団体はまだ動かずの状況である。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・各県の県民割の宿泊プランにより、個人旅行の申込みが3か月前と比べれば良くなっている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・旅行業につき、新規感染者数の減少に伴う人流拡大で数値は上向き基調である。宣言解除直後の10月には一時的に爆発的な需要拡大があったものの、現状は横ばい傾向にある。県民割等の促進事業の県別の実施有無によって数値が大きく影響されている。また、Go To Travelキャンペーンの概要が発表され、客によっては様子見をしている一面もある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月に入り曜日に関係なく、夫婦、家族連れ、友人同士、カップル等の少人数グループの観光客が当地を訪れている。タクシー事業においても、売上は前月の2倍となる見込みである。予報とは違う悪天候も増収要因の1つとなっている。ただ、来月は観光閑散期に入るので先が見えない状況に不安が残る。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が急激に少なくなり、その状態が継続しているが、慎重に活動している人が多いため、外食や旅行に行く人が一気に増えたといったことはない。自宅時間が思ったより減っていないため、インターネットの利用者は増えている。ただ、同業他社との価格競争は激化しており、客の争奪戦になっている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスも収束し始めて、街が徐々ににぎやかになってきているようである。
		観光名所(職員)	単価の動き	・予約数、来客数共に微増を続けている。通常であれば閑散期に入る頃だが、まだ若干ではあるが増加の傾向がある。また、単価の高いものを買う傾向がみられ、購買意欲も非常に高い。そういったことが今の景気を支えているようである。
		遊園地(経営者)	来客数の動き	・10月に続き新型コロナウイルスの影響が薄れて客のマインドが良くなっている。例年になく気温が高めに推移したこともあり、来客数は前年を上回っている。例年より時期は遅いが学校団体も来園している。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言中ということもあり、それと比べると来客数も増えてきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	来客数の動き	・近場に旅行に出掛けたり入に会ったりする前に髪を切るうという人が増え、来客数が増えている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・イベントやスポーツ観戦、文化行事などの開催が復活し、人の動きが回復しており、来客数や売上金額も回復している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・少額資金の客の建売住宅が販売好調である。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・前年比では減少しているが、前月比では微増している。次年度に向けた住宅に関連する施策情報が出たこと、新型コロナウイルスの感染者が少なくなったことにより、来場者数が増加する兆しがある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの状況が続いたことで客足は戻りつつあるが、売上アップにはまだ結び付いていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛に慣れてしまっているのか、人流が戻らない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	お客様の様子	・全体的には持ち直しの傾向がある。ただ、ポイント何倍デーといった日には消費の喚起はされているが、それ以外については依然厳しさが募っており、予断を許さない状況である。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・客単価の高い客層の売上比重が更に大きくなっている。来客数は減少気味だが、売上は横ばいかやや上向きとなっている。チラシに載るような価格競争がある商品は極端に出なくなっているが、そうでなものは順調に販売できていることから、景気自体は悪いという感じがしない。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・肉食需要に陰りが出てきている。しかし、当店を含めて小売業は価格競争の方にシフトして、何とか売上はキープしている。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数は99.5%でほぼ前年並みだが、今後の来客数の伸びは期待できない。客単価も伸び悩み傾向で、節約志向が高まっている。年末を控え更に食品の消費は慎重になるとみている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスも沈静化をしているなかで経済も少しずつ戻ってきているが、いまだに来客数は前年と同程度であり、人の動きは戻っていない状況である。特に深夜等の動きが悪い。
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・冬物の需要により、来客数及び商品単価が若干上がっている。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・来客数は回復傾向にあるが、販売額、販売量が停滞気味である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で個人客の販売量が思うようには伸びていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・海外から部品供給が間に合わず発生した新車納期遅延が、いまだ回復していない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数が極端に増減しているとはいえない。新型コロナウイルスなどの関係で新車は長納期となっている。メーカーより納入されないため売上が芳しくない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・地元も都市部も人出が多くなってきており、最悪の状態から脱しつつある感触はある。しかし、売上などの数字は余り良くはなっておらず、状況を慎重に見定める必要がある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・感染対策緩和などで動きが出てくると期待していたが、前年比の販売量は前月までの推移と変わっておらず、回復しているとは思えない。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスも小康状態になり、少し明るさがみえてきている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当県では新型コロナウイルス新規感染者数が皆無になったものの、まだまだ開放感にあふれた生活とはなっていない。警戒心を持つことが当たり前の状況にあっては、夜の飲食街には出てこない。ワクチンでの予防では今の状態が限界なのかなと痛感している。大きな集まりや季節的なイベントが全くできないため、目に見えての景気の変化はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ガソリン、重油、石油といった燃料費の高騰、電気料金の値上げ等があって消費を控えているという客の声も多数届いている。また、サケの不漁、カニ、海老等の値上げもあり、小売業の利益が厳しい状況と聞いている。よって、前月と変わらず景気は低迷している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数がかかなり減ってきているが、第6波への警戒感から、特に飲食店の来客数が戻らない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の購買意欲に変化がみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・なかなか商談ができない。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ2～3か月売上に変化がない。新規客の姿がなく常連客ばかりが目立つ。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・問合せや契約などが一定数あることから特に変わりはない。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器については、給湯器の交換を急ぐ問合せが増えており、前倒し注文しておいた商品で対応している。リフォームについては、好天日が続き足場設置ができるようになったことで屋外の塗装工事が急増している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・10月に対し今現在、売上前期比でマイナス0.6%、来客数前期比でマイナス1.0%という状況で、若干の低下がみられる。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・来客数、買上点数共に減少が続いている。外食の需要が増加していることに加え、ブラックフライデーなどイベント販促やお買い得品への支出が増え、内食は控えられている。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・最低賃金の上昇で利益が減少している。売上も上がらず厳しい。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・原油高により物価が上昇し始めている。客は価格に大分敏感になってきており、やや買い控えの傾向にある。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・人や物の移動が制限されている影響が遅れて出てきている。車の消耗品部品が前年の半分程度に落ち込んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今年の前半に比べると客の意識が良い方向にいつている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店サイクルがあるため、前月、前々月に訪れた客は3か月後は来ない。
	×	スーパー（経営者）	単価の動き	・11月は平均1品単価前年比が同じ水準での推移だったが、来客数は落ち込んでおり、それ以上に買上点数が落ちている。財布のひもは一層固く、消費は依然厳しい状況である。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ガソリン・灯油価格の値上げや食品全般の値上げにより、客の財布のひもは更に固くなっている。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くと同時に、11月に入り家庭内食の頻度が低下しているのか、食材の販売量が低下している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が大分収まって新規感染者もほとんどいないが、なぜか客の動きがすごく鈍い。土日に関しても行楽に行く人が少ない。コロナ禍で収入が減っている人が多いのではないかと推測している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夏季に比べて来客数が大きく落ちていることもあるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着いた現在も売上が戻らない。リモートや巣籠りが定着したことが要因となっているとみている。さらに、最低時給も上がったのでなおさら経営が厳しい。
	×	乗用車販売店（店長）	それ以外	・例年冬タイヤの商戦に合わせてアルミホイール需要も多くなるが、半導体同様に品薄のため、思うような販売計画が立てられない状況である。車両減産と合わせた複合的な影響を直近で一番感じる月となっている。事実、経営数字も最悪となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が下火になって経済活動も活発になってきたが、最近の消費者はキャッシュレスやポイント等を重要視しており、そのようなことがもめない当店の個人商店には足が向かないようで客足は芳しくない。
企業 動向 関連 (東北)		建設業(企画担当)	取引先の様子	・取引先である先端技術、半導体、物流等の業種については、旺盛な投資意欲がみられる。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・観光客や出張客が増えており、土産需要は前年を上回ってきている。一方で、お歳暮商戦はややスタートが遅い。トータルで前年並みのペースとなっている。
		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・イベントが多い土日だけでなく、平日の人流が増え、土産品の売上の伸びも顕著である。サラリーマンの出張や、小旅行者の姿も徐々に増えており、地元民もほぼ新型コロナウイルス発生前のような消費行動を始めているようである。
		出版・印刷・同 関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・客や仕事の内容が変わってきた。
		出版・印刷・同 関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・社会経済の動きが、新型コロナウイルスの落ち着きとともに回復傾向にある。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新変異株や素材の高騰など不安材料はあるものの、目先の受注は力強い。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・10月は売上、損益共に前年を上回った。11月も前年を上回りそうである。やはり新規感染者数が減少すれば景気回復につながるということだとみられる。ただ、業界としては、原油価格高騰による燃料費の負担増が重くのしかかる。
		金融業(広報担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症対策の緩和もあり、飲食店への客足の戻りや各種イベントでの人流増加がはっきりと認識できることから、個人消費が総じて上向いている感じを受ける。
		広告業協会(役員)	受注量や販売量の動き	・広告業界は緩やかではあるが回復基調になりつつある。冬のイベントが開催を決定するなど、明るい話題もようやく出始めてきた。
		広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスも落ち着き、3か月前と比べれば新規案件の話が大幅に増えてきている。
		経営コンサルタント	それ以外	・郊外のショッピングセンター等大型商業施設には週末の入客が戻りつつある。
		その他非製造業 [飲食料品卸売業](経営者)	受注量や販売量の動き	・全国的な酒類提供に関する停止要請や制限措置が解除・緩和となった。また、当地を訪れる交流人口がビジネスや観光において回復してきている。そういったことにより3か月前と比べて出荷は改善している。
		その他企業[企画業](経営者)	それ以外	・町内の温泉宿泊施設は休日に限らず、平日も客の入りが増えてきている。それらの客からは、Go Toキャンペーンを待たなくてもよい、早く動きたいという声が多く聞かれる。
		農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・お歳暮用の贈答りんごの注文数は例年並みである。また、農協ではりんごが前年より1~2割程度高値で販売されていると職員が話していた。
		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・前年比95%程度の販売量が続き、ここ1年状況に変化はみられない。
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・景気に大きく影響する半導体価格の推移は従来並みである。
	建設業(従業員)	取引先の様子	・工事は前年並みにある。資材価格高騰や部品納入の遅れなどもない。	
	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・民間案件を含め、一定の受注契約を得ている。	
	通信業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新変異株の影響で、客の反応は消極的傾向になっている。	
	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス、飲食業関係は少しずつ客足が戻ってきているが、まだ低空飛行である。建設業関係は業種にばらつきがあるが、少しずつ回復している。全体的には景気はまだ悪いようである。	
	その他非製造業 [飲食料品卸売業](経営者)	受注価格や販売価格の動き	・景気が良くなっているという話をよく聞くが、取引先の話ではデリバリー地域のなかでの価格競争が激しく、苦慮しているのが現状とのことである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・各種機器の保守に関し、従来は予防保全として事前に点検や修理を実施していたが、現在は事後保全という形で実施している。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・主力であるIT機器関連商品の納期は相変わらず改善されており、営業活動に力が入らない状況である。やはり、タイムリーに商品を届けられないとモチベーションが上がらない。
	x	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・需要の減少に加え、原材料や燃料の価格高騰の影響が大きい。コストの上昇を製品価格に転嫁できていない。
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・飲食業や接客業が求人活動を再開している。今まで採用できていた物流倉庫や各業種の営業職の募集については、全体の求人数が増えて採りにくくなっている。各企業において求人のための戦略見直しが始まっていることから、景気は上向きと判断している。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・各社業績がV字回復していることから採用ニーズが増えている。特に自動車周辺や半導体周辺の製造業系や小売、外食系の企業も今後のめどが立ったため、製造や販売スタッフの採用ニーズが急激に増加している。再び人材確保を課題とする企業が増えることが想定されている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・飲食店、接客販売業に採用の動きが出てきている。以前と比べて変化が出てきている状況である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・引き続き人材派遣の求人数が増えている。また、募集単価も上昇傾向にある。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・緊急事態宣言も解除され、新型コロナウイルス新規感染者数も減り、一般の会議も開かれるようになったため、経済が回り始めたようである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の申込みが増加してきている。その他の広告も、旅行関係中心に増加傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、飲食業、宿泊業を中心に広告出稿の動きが出てきている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大型店舗の進出に伴い求人倍率が上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して新規求人数が約500人、有効求人数が約600人増加している。
		学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者がいない状況が継続しているため、商業施設を訪れる人の動きが増加していたり、飲食店の営業状況が改善したりしている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いており、動きが出てくるとみているが、企業の求人数に大きな変化はない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の動きに変化はない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動向に目立った動きがない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・訪問事業所の話では、原油や鉄鋼価格の高騰により、値上げ交渉ができない中小企業においては利益幅が縮小している。また、物流についても、海外の船便の入港に時間が掛かるなど、輸送コストが増加しつつある。
		x	-	-

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・前月同様、3か月前より売上は良く、新型コロナウイルス発生前の2019年度と比較しても、売上達成率が7割程度にまで改善している。新規感染者が激減しているためか、観光客、修学旅行生が大変多く来ている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生前とまでとはいかないものの、人出は戻って来ている。特に、ランチタイムはグループでの来店が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、また、新型コロナウイルス新規感染者数が激減していることが最大の理由である。引き続き、感染対策を万全にし、新変異株をしつかりと抑えていけば、観光関連産業は持ち直していくのではないかと。
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊は、県内限定の割引等もあり、個人客を中心に稼働が戻ってきている。また、延期になっていたスポーツ関連の予約等にも動きが出てきている。料飲部門は、宴会需要は皆無であるが、ファミリーや4～5名の会食が増えてきている。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・通常この時期に来園する学生団体に加え、新型コロナウイルスの影響で実施時期や行先変更になった学生団体も来園し、例年に比べて学生団体が5倍以上になっている。また、週末は天候に恵まれ、紅葉時期とも重なり、来園者数が増加している。
		一般小売店〔青果〕 (店長)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、宣言時に比べて飲食店等は日中の動きが良くなっている。ただし、夜は相変わらず、人出が鈍いようである。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・平日、休日ともに、来客数が前年実績を上回る日が増加傾向にある。一方で、リベンジ消費やペントアップ等の効果はまだまだ低位と認識している。来客数の増加イコール売上増大とはなっていないのが現状である。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・売上は、前年度比では103%となり回復基調となるものの、前々年度比では94%と新型コロナウイルス発生前の水準には戻っていない。そのため、現状はやや悪いものの、判断としてはやや良くなっている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・前年度に比べると、特に、この11月から新型コロナウイルスの新規感染者が減っている関係で、今まで外出自粛で来なかった客が来店している。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・ポジョレーヌーヴォーの解禁や、各地で少しずつだが行事が行われて、予約弁当等の比較的単価が高い商材の動きが多かったため、やや良くなっている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・前年比で売上103%、来客数101%、客単価101%となっている。新型コロナウイルス発生前までには戻っていないが、このところ客の買物の動きに、必需品だけではなく、くじ商材を買う等、趣味の物にお金を使う余裕が感じられるようになっている。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・来店はするものの、購買に結び付かない場合が多く、まだ購買に慎重な傾向を感じている。
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・自動車販売店だが、半導体不足の影響で、来店客はあるものの、納車の期日が分からないため、例えば納車まで半年掛かるとい話をすると帰ってしまう。とにかく、半導体不足が落ち着かないと駄目である。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、当社は周辺全て観光地なので、観光客がどっとやって来ている状態である。ホテル、売店、レストハウスのオーナー等、観光地で商売をしている業者の方の景気の良い話が、段々出てきており、前月、前々月と比べると、雲泥の差くらいに回復している。
		その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	単価の動き	・今月は新型コロナウイルス新規感染者数の減少により、やや持ち直してきたように思う。このまま新型コロナウイルス禍が落ち着いて、客足が増えるようになれば良い。客足は前年並みとまではいかないが、良い物が比較的売れ始めてきている。子供についても幼稚園や学校の行事が、コンパクトになっているものの、動き出してきている。
		一般レストラン 〔居酒屋〕(経営者)	お客様の様子	・来店時の人数制限はないものの、大人数での来店は少なく、来客数は平年には及ばない。ただし、来客の組数は日を追って増えてきている。国策が大きく影響すると思われる。
		一般レストラン 〔居酒屋〕(経営者)	来客数の動き	・少人数だが、徐々に宴会や会食が増えつつある。
		都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除とともに、客の行動マインドが上がってきている。今月は宿泊や宴会の売上が新型コロナウイルス感染拡大後、最も多い。また、1か月の予約獲得者数も同様に最も多くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・宿泊を伴う修学旅行が実施され、遠足や社会科見学のバスの稼働もあり、やや良くなっている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・団体旅行は、一般やツアー募集はまだだが、教育旅行は完全に戻ってきている。個人旅行では、県民割が実施されているものの、Go To Travelキャンペーン待ちもあり、前回ほどの盛り上がりはない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・報道にあるとおり、観光地の人出の推移で、やや良くなっている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が安定し、来客数や販売数は回復傾向にある。顧客側のマインド、政府側の規制緩和もあり、年末に向け景気回復が見込める状況である。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・3か月前は、純増数（加入件数 - 解約件数）は底だったが、回復傾向にある。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第5波が落ち着き、現在は以前の生活が戻りつつあり、外出など購買活動が通常になってきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・幼稚園や学校行事が、少しずつではあるが実施され始めてきている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・日暮れが早くなっているため、営業時間は短くなっている。一般の店でも制限が緩やかになって、人の動きが良くなっていると思うが、まだなかなか思うようにはいかない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は低い水準で維持され、8～9月の緊急事態宣言下と比較すると来客数は改善している。自粛していた集客施策を再開したが、想定していた効果は得られず、依然として厳しい状況に変わりはない。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、人流が多少増えてイベントも開催されているものの、今月は来客数、売上に大きな変化はなく、横ばい状態である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者減少で、来店客が増えている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、全くといってよいほど客が街に出てこない。特に、当店の客はかなり高齢で、ほとんどが年金生活の年代なので、どこかで身の安全を守る行動に出てしまっているようである。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数も減少しており、来客数は増えているものの、売上が伸びていない。
		住関連専門店（店長）	競争相手の様子	・日本の新型コロナウイルス感染状況は落ち着いているが、海外では感染拡大の兆候が見える。観光業や飲食業等は依然として経営が戻らないし、新型コロナウイルス発生前の状況にはなっていない。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見られ、消費にプラスの影響が出ると予想していたが、実際は余りこれまでと変わらない。その一因としては、やや気温が高めに推移し、季節商材の動きが鈍いことが挙げられる。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・客層がそれぞれ違うので他店と比べることは難しいが、組合の会合でも、良くなってきたという話は出ない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・社員食堂部門では、海外需要の好調持続で社員数が増加し、提供食数も増加している取引先がある。その一方、半導体や部品類の調達難に伴う生産調整や稼働日数減少により提供食数も減少となる取引先もある。受託先ごとにまちまちの状況で、総じて横ばいで推移している。レストラン部門は、少人数の取り込みができていたところでは来客数の改善がみられるものの、総じて低調のまま推移している。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きが良かったので、前年同月と比べて28%の増収である。ただし、2年前の同月と比べると33%減少となっている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除から2か月近くたち、売上はインターネット投票の影響もあり順調だが、来場者数には大きな変化はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [自動車整備業] (経営者)	それ以外	・来店客層は20代から高齢者までいるが、景況観は好転していない。新型コロナウイルスの終息を警戒感を持ってみており、経済観念は依然として変わらない。年末年始も盛り上がり、マスコミの報道とは大違いである。
		設計事務所 (所長)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、徐々に飲食の機会は増えてはいるものの、新年会を自粛する企業や団体もあり、景気が戻ってきたという実感はない。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・貸店舗等への引き合い等はかなり増えてきたが、新型コロナウイルス感染拡大第6波による緊急事態宣言がまた発出されるのではないかとということで、契約には至らない。動き出した段階だと思われる。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム] (営業)	お客様の様子	・リフォームを含む修繕等において、通常の生活に支障がない場合、金額の多寡にかかわらず見送る客が多い。早めの修繕を行えば将来的には安価で済むことも多いのだが、やはり生活防衛意識が強い。
		一般小売店 [家電] (経営者)	販売量の動き	・半導体不足により、入荷の遅れている商材がかなりある。このままいくと、中小企業は苦しいのではないかと。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車、中古車の販売が前年同期に比べて30%ほどダウンしている。ただ、整備売上には余り変化がないので、ほっとしている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・車両の登録状況は上向きになってきている。しかし半導体不足の影響で納車の遅延があり、販売できる台数の確保ができていない。
		通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・部材不足による生産減少の影響で、人気商材の入荷が少なく、販売数が伸びない。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・半導体不足の影響で住宅機器の納品ができず、建築工事受注ができないため、土地の動きが鈍い。全く動きがなく、困っている。
	×	家電量販店 (店員)	販売量の動き	・給付金需要の終えんと、新型コロナウイルス禍の購買自粛ムードの継続、半導体不足による生産遅延での商材納期の不安定さ等、不景気要因は多い。今月の販売実績は前年比で85%と振るわずに着地予定である。
	×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・ホテル業界だが、忘年会シーズンにもかかわらず宴会予約が新型コロナウイルス発生前に比べて10分の1である。この先も大人数の夕食が戻ってこない。
	×	タクシー (役員)	それ以外	・新型コロナウイルス対策が不十分で、人出がまだまばらである。見通しがつかない燃料価格の高騰や売上原価の上昇で、ずっとマイナスが続いている。
	×	美容室 (経営者)	来客数の動き	・原油、非鉄金属、食料品等の国際価格が値上がりすると、国内マネーはどんどん流出し、日本の購買力を低下させてしまう。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・半導体不足の影響も少し緩和され、稼働が上がったようで受注量も若干上向いてきている。原油等の値上げも懸念材料としてあるが、このままの回復を期待している。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・例年になく、忙しく稼働している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月に入って自動車の組立ラインが再稼働となり、計画どおりの納入ができています。油圧建機やロボット向けの仕事も堅調に推移している。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・現状、取引先等はやや良くなっているが、今後は分からない。
		不動産業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・人流も戻りつつあり、人の動きがあると建物の修繕やメンテナンスも増えるため、仕事量からも景気の上昇がみられる。
		広告代理店 (営業担当)	それ以外	・週末の居酒屋等の飲食店は、徐々に満席だったり、予約が取れない状況である。
		社会保険労務士	取引先の様子	・ランチ等の客は戻ってきているが、居酒屋等はまだまだ時間が掛かりそうである。忘年会の予約も悪いようである。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・半導体不足が継続している。この先も同様の状況が続くと予測される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・冬物家電、電気カーペット、ヒーター、電気毛布、加湿器等は、前年並みの物量を確保できている。新型コロナウイルスが落ち着いて、各業者の荷動きもあり、車両確保は燃料価格高騰もあってコスト増となり、利益は薄くなっている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で延期になっていた管理業務が再開し、売上面では少し良いこともあったものの、最低賃金引上げによる人件費の増加や燃料価格高騰による経費増加の影響も顕著になった月である。
		経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルス終息後に向けた企業や人々の動きがうかがえる。しかし、街中や商業、集客施設は、一様に元に戻っているというより、ところにより差が生じている。それでも地域経済は動き出している印象がある。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・判断を、変わらないからやや良くなっているに上げるほどではないが、少しずつ良くなっている感じはする。何となく周囲の皆に元気が出始めている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・特段の変化は見られないが、11月に入ってから引き合い、商談件数が共に増えてきている。取引先にも活気が出てきた会社が増えてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社だけの問題ではなく、親会社というか仕事をくれる会社の方でも、部材の入手が困難になってきており、もしかしたら生産が止まると言われている。当社も網渡りで部品をかき集めて、高い部品を買って安く売っている状況で、非常に厳しい。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を管んでいる。与党政権誕生後、公共工事は順調で、業界としては有り難い。ただし、最近の報道では、ここ10年、日本では給与の伸びがなく、世界を見ると日本が最低で、結果として前々で与党政権の政策の反省すべき点として表されている。今後の現政権に期待したい。また、野党議員の発言により、議員在職期間が1日でも月100万円の文通費が支給されていることが分かったが、一般国民の感覚とはかけ離れている。報道機関もこのような情報を取り上げて欲しい。公共工事発注は前年比87%と厳しく、当社受注も前年比90%と厳しい状況である。
雇用 関連		*	*	*
(北関東)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・製造業からの派遣依頼が増加している。
		人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・サービス業の派遣採用が増加している。人材不足のために対応が遅れているものの、人材がいれば即採用の状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の解除や新規感染者数の減少により、全体的に求人数が増加している。半導体不足で先行きが不透明との理由から、自動車関係の部品加工等では求人を探る動きもある。産業別にみると、主に製造業、運輸郵便業、宿泊、飲食業の求人が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店は通常営業になったことから、パート求人が増加している。また、自動車部品関連事業所からの受注増加で、製造業の派遣社員募集も増加している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・関連している企業では注文が前月比150%増になっており、年末に向けて需要は依然増加している状況とのことである。景気は上向きになってきている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・年末年始商材の食品関係やギフト、冬物衣料等の動きは求人等も含めて活発さが若干みられる。住宅関連は外壁補修工事が結構入っていたようである。ガソリン価格がどこまで上がっていくか分からないが、食品を除いた製造業では、全般的に大分影響が出てきている。
		*	*	*

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍でも堅調であった高級雑貨、宝飾、特選ブランド、インテリアを始め、服飾ファッション、化粧品、食品、レストランなど全領域で好調である（東京都）。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除と新型コロナウイルス感染者数の減少により、来客数が増加し、酒販による単価アップにより売上が回復基調にある（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて、紅葉シーズンでもあったので、週末は近所の大きな公園にたくさんの人が訪れ、その帰りに当店に寄ってくれる客がすごく増えている。その代わり、夜は20時くらいになるとさっと客が引けていく（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が極端に減少し、観光需要が急増している。新型コロナウイルス発生前までとはいれないが、稼働率が上昇している。
		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は、緊急事態宣言が解除されて、個人旅行が動き出している。時期的にも紅葉シーズンということで、紅葉の地域を中心に個人旅行の販売が伸びている。地域によっては、県内割などの補助政策もあり、個人旅行が活発になっている。また、修学旅行が春の中止分も含めて順調に消化されているので、その点も含めて国内旅行の需要は伸びている（東京都）。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気がやや良くなったとはいえ、3か月前のかなり悪かった状況から比べればややよくなっているという程度である。新型コロナウイルス発生前とは比べものにはならないが、客の来店頻度が大幅増えてきていることなどから、やや良い方向になってきたと感じている。
		商店街（代表者）	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、リベンジ消費的な動きを少し感じる。クレジットカードの取扱額も回復基調である。ただし、街にはたくさん人がいるのだが、その割には売上に反映されていないように感じる（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人の流れが戻りつつある。販売量や取引先からの注文も増えている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が急激に少なくなってきたため、来客数が多少増えている。また、11～12月は需要がある時期なので、やや上向きになっている。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の営業がほぼ通常どおりに戻ったことから、会計伝票などの飲食店向け商材のまとめ買いが多く増えてきている。また、地域のイベントも、新型コロナウイルス発生前よりは規模を縮小しているものの開催し始めたため、イベント目当ての来街者が増えてきており、若干ではあるが景気は上向いてきている（東京都）。
		一般小売店〔生花〕（店員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除された途端に、人が街に流れてきたような感じがしている。駅に行っても人通りが多く、当店でも客の顔が明るくなったような気がしている（東京都）。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて、少しずつ注文が出てきている。それほど数量ではないが、これから年末に向かってどんどん注文が増えてくることを期待している（東京都）。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・週末や祝日には家族連れで来店する客が増えている。今までは来店しても短時間で目的買いが主流だったが、買物後には店内レストランで食事をして帰るなど、滞在時間も長くなっている（東京都）。
	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が低調に推移していることから、数か月前と比較して客の動きがやや活発になっている。厳しい状況が続いていた衣料品にも動きが出てきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・3か月前の緊急事態宣言中の状況と比べれば、客の購買行動を含め良くなっている。ただし、ファッション関連商材の動向はやや良くなっているものの、前々年には大きく及ばない。来客数などの推移を見ても、引き続き客の行動は慎重であり、目的以外の買物はしないという傾向が続いている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除以降、新型コロナウイルスの感染者数減少に連動するように、来客数も増加してきている（東京都）。
		百貨店（広報担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の急激な減少を受けて、心理的な外出自粛ムードが幾らか弱まっているため、店舗の来客数が増加している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているなか、明らかに来客数、売上共に増加しているが、感染拡大前の2019年の水準までには回復していない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今月は既に前年を2けた上回る数字で動いている。実際に購入している客の高揚感や、ようやく化粧品を購入する気分になったという客の気持ちはこちら側にも伝わってきて、リベンジ消費とはまた異なる心の動きを感じている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数の減少、ワクチン接種の進展に伴い、消費者の購買マインドが上向きになっていると感じる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月に入って来客数は回復傾向にあり、売上也特選ブランドや宝飾、時計等の高額品では新型コロナウイルス発生前の水準まで回復し、一部の富裕層では消費マインドの改善がみられる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・9月末で緊急事態宣言が解除され、10月以降は来客数も増加傾向となり、3か月前と比べると良くなっている。特に、外出を控えることにより落ち込んでいたアパレルに動きがみられる。
		百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後、徐々に来客数が戻りつつある。前年に比べ、商材確保もある程度見込まれている。最近の気温低下により重衣料にも動きが少しずつ出てきている。お歳暮ギフト、おせち料理の受注等についても11月後半になって動きが出て、少しずつではあるが回復の見通しが出てきている（東京都）。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染者数が落ち着いていることから、人流が一定程度回復し、来客数と比例する食品が回復傾向にある。この2年購入できなかったことから、徐々に服飾にも動きが出てきている。富裕層は堅調である。ただし、2019年度の水準まではまだ回復途上である（東京都）。
		百貨店（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されたことにより、改善基調にある（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	来客数の動き	・店頭や街中に客が安心して出かけているように感じる。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・月の半ば過ぎまで厳しい状況が続き、特に衣料品、住まいの品の売上が不振で、食品が多少好調であってもカバーできない状況だったが、月末に新型コロナウイルスが収束に向かったことと気温が下がったことから一気にばん回し、トータルでは前年を上回っている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・観光に出かけたり、飲みに行ったりし始めている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・以前は、客単価は上がっているものの来客数が増えないというイメージがあったが、最近では、客単価よりも来客数が少しずつ伸びてきている。また、ショッピングモール内にも出店しているが、そちらの店舗の来客数も少しずつ伸びている。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・来客数そのものは期待ほど伸びていないが、買上点数は確実に上がってきている（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・キャッシュレス決済の20%還元キャンペーンの効果があり、当該決済については前年比2.5倍に増加、信販全体では1.7倍に増えている。少額での利用が多く、来客数増加にも貢献したようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・会社全体の販売実績が前々年並みに戻りつつある。特に、イベントに左右されやすいドレス事業が急回復していることと、EC売上が伸長している(東京都)。
		衣料品専門店 (役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスが少し落ち着いてきて、人出は増えてきているものの、11月は気温が高く、冬物衣料の出足が鈍い。
		衣料品専門店 (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が大分少なくなってきている。
		家電量販店(店 長)	お客様の様子	・現在も時間短縮営業を行っているが、チラシの投入再開もあり、掲載商品等の売上が伸びてきている。まだ弱い状況ではあるものの、販促の再開によって売上に勢いが戻ってきている(東京都)。
		乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新型車の効果により販売台数が伸張している。また、中古車市場が順調に推移している。
		その他専門店 [貴金属](統 括)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、来客数が徐々に増加してきている(東京都)。
		その他小売 [ショッピング センター](統 括)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が急激に減少し、開放感からか人出が戻っている感じがする。ただし、財布のひもは固いようである(東京都)。
		高級レストラン (仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍も落ち着いてきて、ほぼ平常営業に戻ったことにより、レストラン等の来客数が増えてきている(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルス感染拡大中だったので、来店客がほとんどなかった。今は感染状況が落ち着き、緊急事態宣言も解除されたので、少しずつ戻り始めている。だが、まだ新型コロナウイルス発生前のようにはいかず、なかなか厳しい。ケータリングもほとんどない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ランチは人出が戻りつつある。夜は伸び悩んでいるが、新旧の客の入れ替わりも感じる(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べると、客が多少戻ってきている。緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の要請等によって、客の流れは変わる。これは景気とは関係ないと思うので、決して良いとは思えないが、実際の数字はそういう形になっている。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・10月1~28日までの前年比は、売上28.3%、来客数28.53%である。今月11月1~28日までの前年比は、売上76.6%、来客数76.45%である。3か月前は4店舗が休業していたが、今月の休業は1店舗である(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・今まで自粛していた客が、徐々に店に戻ってきている。企業の自粛要請も少し緩んでいるようで、複数名の予約が入るようになってきている(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今までほぼ1人で来ていたランチ客が、若干ではあるものの、ようやく複数人で来てくれるようになった。宴会なども、3~4人の少人数ではあるが少しずつ12月の予約が入るようになってきている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、11月に入ってから徐々に来客数が増えている。ただし、夜の営業時間は新型コロナウイルス発生前のように遅くまで客が来店することはなく、このまま夜の時間帯は減ったままだと思うので、回復には時間が掛かる(東京都)。
		その他飲食[居 酒屋](経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための規制がなくなったので、外食需要が増え、当店の来客数も増えている(東京都)。
		その他飲食[カ フェ](経営 者)	お客様の様子	・飲食する客が少し増えてきているが、以前のように戻っていない。客が楽しそうに会話する姿が以前よりは増えているようで、ほのぼのとするときもある(東京都)。
		その他飲食[給 食・レストラ ン](役員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が薄らぎ、来客数が大きく戻りつつある。また、前年度後半より取り組んだローコスト体制の整備等、ポストコロナ対策が功を奏し、利益も大幅に回復傾向にある(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・今は新型コロナウイルスの感染者数が激減しており、個人客から徐々に戻ってきている。近隣の大型コンベンション施設でのイベントも、ライブなどを中心に再開されているため、やや良くなっている。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、人出が多くなるに連れて、個人でのレストラン利用が徐々にではあるものの増え始めており、土日祝日は満席になることもある。平日は、ランチは好調に推移している一方で、ディナーは若干増えたものの厳しい状況が続いている。以前に比べれば目に見えるように回復している。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人々の動きが活発になってきている。旅行の申込数も増加傾向である(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・団体旅行はいまだに学校のみという状況に変化はない。しかし、実施案件ゼロであった3か月前に比べれば、やや良くなっている。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が沈静化して、Go To Travelキャンペーンの再開がささやかれるようになり、旅行の申込みが増加傾向にある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ利用が戻っている。昼間は以前同様にそれなりの利用がある。夜の飲食店の客入りも良さそうで、飲食店からのオーダーも増えているので、一安心である。ただし、飲んだ勢いでマスクもせずにタクシーに乗る客が増えているので、要注意である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて、人の流れはかなり多くなっているが、まだまだ新型コロナウイルス発生前には届かない。人流が夜遅くまで続くわけでもないので、景気がものすごく良くなる状況にはなっていない(東京都)。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・営業活動が増えてきたのか、広告からの問合せが増加している(東京都)。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、インターネットサービスを中心に販売量は回復傾向にある。ただし、本格的な回復には至っておらず、前年同月比ではまだマイナスである。
		通信会社(経営企画担当)	お客様の様子	・商談数が増え、受注も増加し始めている(東京都)。
		通信会社(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染の改善傾向が続き、訪問営業等の機会が徐々に回復しつつある(東京都)。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、旅客が増加していることが、輸送実績で顕著になっている(東京都)。
		ゴルフ場(経理担当)	来客数の動き	・11月は繁忙期であり天候にも恵まれ、高稼働率で推移している。同業他社においては、新型コロナウイルス禍以前では考えられない強気の料金設定を行っているところもみられる。一方、来場客の中心は会員であり、企業や団体名を冠したコンペや接待は低調で収益性の低い状態が続いており、レストランの客単価も改善していない。
		その他レジャー施設[ボウリング場](支配人)	来客数の動き	・団体予約の数が増えてきている(東京都)。
		その他レジャー施設[総合](広報担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の減少及び催事の入場制限の緩和により、人出が増えつつある(東京都)。
		設計事務所(経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で仕事が全く見えなくなり、営業も方向性を失ってしまっている。しかし、感染状況が少し落ち着き、何とかしなくてはということで、営業方法を変えたりして、いろいろ検討している。そういったなかで、何か新しい物が見えてきそうなのだが、民間の仕事はますます厳しくなっているし、どう動けば良いかを模索している。
		その他住宅[住宅資材](営業)	販売量の動き	・新型コロナウイルス後の消費増大の動きに連動して、建築資材の需要が例年に比べて多くなっているようである(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・ここ何年というが、新型コロナウイルスが発生してからずっと、景気の良い話がない。緊急事態宣言が解除されたといっても、近隣の飲食店ではそれほど客が戻ってきていないようで、当店の売上自体もずっと苦しい状態である。3か月前と比べても、悪い状態が変わり映えなく続いているという感じである（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・来客数が極端に少ない。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・工事を伴うものの注文が多くなっている。手の掛かる仕事だが利益率は良い。家電製品の売上はさほどでもない。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数がかかり減少し、経済が回り始めている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて、少し動きが出てきて、客の動きも活発になったような気がする。
		一般小売店〔傘〕（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後も客足は戻っていない。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	お客様の様子	・例年に比べて客が早い時間に帰る傾向があり、店頭に来客数が伸びていない。この新型コロナウイルス禍において、こうした傾向が浸透してしまっているようである。外商の方はそれなりだが、余り大きな案件もなく、ぱっとしない。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・来客数は増えてきているが、売上は減少している。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・円安の影響による輸入商材の値上がりも影響しているが、年末に掛けての受注は確保されている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、感染者数が激減しているが、いまだ回復しているとは言い難い（東京都）。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の様子を見ていると、広告初日の価格の出ている商品やポイント何倍の日、セール時間帯など、同じ物なら少しでも安く買おうと買い回る傾向がずっとある（東京都）。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後、来客数減少の予測をしていたが、大きく落ち込むことはなかった。客からは、今までより安心になったとはいえ、まだ油断できない状況であるため、生活が大きく変わることはないという話も聞いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数、買上点数は前年並みを維持しているものの、単価の上昇がみられない。より安価な物へと志向がシフトしている（東京都）。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・内食化傾向が薄らいできており、買上単価が落ち込んでいる。しかし、客の買物頻度が高まっているためか、来客数の増加がみられる。さらに、冬物商材の動きが順調である（東京都）。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も外食の増加や旅行等の動きは多少みられるが、今後の新型コロナウイルス感染状況の見通しと物価の上昇、ガソリン価格の上昇もあり、慎重になっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が少し減っている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上、客単価共にほぼ変化がない。しかし、アルバイトが飲食店に流れ、急激な人手不足が加速しており、不安である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のイベントがまだ開催されず、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2つ買ったら景品をプレゼントするといったキャンペーンの場合、終わるとぱったりと購買がなくなってしまう状態なので、余り良くない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで売上が戻ることを期待していたが、余り戻っていない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が減少し、低い水準になっているので、消費が上向き期待もあるが、今まで低迷していた業種に消費が向かっている。土日は観光やレジャーが盛り返しており、高速道路の渋滞も増えている（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。前月同様、5割の減少となっている。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響による海外からの部品の納品遅れがまだまだ解消されないため、新車の納期遅れが続いている。他メーカーも同様に新車の納車が遅れている。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響下で展示会やイベントができないため、客の動きが悪く、新車の発注に影響を受けている。また、やはり新型コロナウイルスの影響で部品の供給が間に合わず、納期が大幅に遅れていることもあるので、現状ではまだ景気は悪いままであり、今後も余り変わらない（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・原因は不明だが、来店客が全くなく、販売はとてども厳しい（東京都）。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、人出は確実に増えてきているが、足元の客は全く増えていない。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	販売量の動き	・販売量や来客数などもろもろ見ても、前回と変わらない。
		その他小売【生鮮魚介卸売】（営業）	お客様の様子	・長い長い緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルスの感染第6波を恐れて客も慎重になっている（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	来客数の動き	・各種の自粛要請が解除され、レストラン利用から徐々に回復の兆しがみられつつあるが、法人関連、団体宴会を売上の柱としていた当社にとっては、依然として厳しい状況が続いている。11月度の売上は、前々年比42.4%、前年比124.9%となっている（東京都）。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客に電話をしても、新型コロナウイルスの感染状況は、まだ制限が緩和されたのみで完全に終息したわけではないので、出歩くのは何となく不安だということで、なかなか良い返事をもらうことができない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・外出が可能になってきているものの、自主的に行動を制限している方々がまだまだ多数いる（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・申込みが伸びない（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・最近是人も車も増えている。東京駅なども数か月前まではほとんど客がいなかったが、送迎のタクシーが非常に増えている。しかし、その他の利用客は余り変化がなく、サラリーマン等も営業で動いていない。日中のサラリーマンの動きはまだ良くなっていない（東京都）。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・11月の客からの問合せ件数は、前年同月と比較して戸建て、集合住宅共に半減となり、落ち着いてしまっている。客からの動きは鈍くなっているが、新型コロナウイルス禍による訪問拒否や営業キャンセルの増加はなく、営業全般的には落ち着いている（東京都）。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・依然として半導体不足の影響があり、受注案件の機器の納品が遅れている（東京都）。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・端末の値引きによって販売量を維持しているため、転売目的の購入が増え、解約率が増加している。だからといって値引きを止めることはできない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念も残っているため、消費の回復は限定的なものとなっている。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・ケーブルテレビ、インターネット契約数が前年比で減少していることに加え、純増ベースも同様の状況である（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・相変わらずの傾向として、新規加入、コース変更共に必要最小限の内容を選択する意識が強い。
		通信会社（経理担当）	単価の動き	・インターネットサービスの割引競争で、来客数が増えても客単価が下がり、売上が伸びない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（管理担当）	お客様の様子	・大型案件の受注が減少している（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス陽性者数が劇的に減少し、一連の規制が緩和される一方、人手不足や原油価格の高騰による仕入価格、原料等の値上げが現実味を帯び、先行きの不透明感が増しており、景気回復の足を引っ張っている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・イベントを行い、観客を誘致したが、チケットの売上にはまだ結び付いていない。新型コロナウイルスの影響で、最初から座席を半減で用意していたが、入場者数は想定の数ほどである。
		その他サービス [保険代理店] （経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスが収束に向かっている安心感と、反対に新変異株に対する不安感があいまって、景気が上向いているとは感じない。完全に景気の上向き傾向を感じられるのは令和4年に入ってからではないか。客単価も横ばいである。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・今は新しい案件の話はない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・現在の仕事は夏からの継続案件のみで、官民間問わず新規案件の受注は難しい状況が続いている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・変わらないといっても、前年同月と比べて多少良くなっているのみであり、依然として悪い状態が続いている（東京都）。
		設計事務所（職員）	それ以外	・鉄骨の価格高騰、原油高騰、懸念材料はあるが、大きな変化はみられない（東京都）。
		住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・当社は不動産ディベロップ業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地などに所有しているホテルの運営状況が非常に悪く、規定の賃料を受け取れていない。今後、Go To Travelキャンペーンが再開されることを期待している。また、住宅の売行きも良くなり、工事請負業も少なくなっている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・契約数は例年並みである。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・土地不足が続いており、地価も下がっていない。年が明けるまでは大きな変化はないとみている。販売に関しても良くはないが、コンスタントに動いている様子である。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・受注動向に特に変化はみられない。
		一般小売店 [家具] （経営者）	販売量の動き	・前回は多少客が来て、このまま良くなるかと思ったが、ここへきて、新型コロナウイルスが収まってきたことと、物価が上がってきて客が少なくなっていることから、売上が落ちている（東京都）。
		一般小売店 [眼鏡] （経営者）	来客数の動き	・9月30日に緊急事態宣言が解除されたが、10月は良くなかった。11月になってから少しだけ来客数が増え、売上も少し伸びている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後から、売上が落ち込んでいる。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・やはり新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、客が巣籠りからいろいろなところに出掛けるようになったためか、徐々に厳しくなっている。3か月前はまだ良かったが、前月から大分悪い状況が続いている。
		スーパー（仕入担当）	単価の動き	・内食から外食の機会が増え、外出も増えているため、客単価、来客数が前年度を割るようになっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているものの、売上も来客数も前年より減少している。住宅街に立地しているが、人は繁華街や観光に出ている感じがする。
		家電量販店（経営企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後で、数値の変化を期待していたが、現時点で売上は前年割れの水準である。客の心理がいまだリベンジ消費という行動パターンになっていない。ただし、現在の新型コロナウイルス感染状況の推移が続けば、徐々に盛り返すとも考えている（東京都）。
		住関連専門店 （統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ正常な来客数には及ばない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスは収まってきているものの、燃料油の需要は戻っていない。さらに、原油価格の高騰に伴い仕入値が上昇しているものの、小売価格への完全転嫁はままならない。買い控えもあり、苦しい状況が継続している（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後の飲食部門の状況を見る限り、良くはなっていない。夜の営業が元に戻らず、来客数は減少したままである。食品輸入卸部門についてはやや受注量が増えているものの、前年同時期と比べるとまだ少ない。
		タクシー（団体役員）	お客様の様子	・緊急事態宣言は解除されたものの、まだまだ人出はなく、タクシーの利用客も増えない。また、客の話によると、忘年会等の予定もないようで、人流は皆無である。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・生活困窮者向け給付金の方針、基準が不明瞭であり、余暇に掛ける家計の出費は控えている様子がある。前年度と比較しても下回っており、景気が良いとはいえない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・当社は通信業のため、在宅率が高いほど景気が良くなる傾向にあるが、緊急宣言解除後は在宅率が低くなったためか、反響数が減ってきている（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	競争相手の様子	・近隣の同業者から、夜間の利用者が減っているとの近況を聞いている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響か、来店頻度が鈍っているような気がする。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・前年同時期と比べると、仕事量が半減している。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスも収束しつつあるようだが、私どもの業務はすぐに具体化するような仕事ではないために、元の状態に戻るまでに2～3か月くらいは掛かるのではないかと。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・オーバーストアの状態である。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・常連客がかなり減っていることと、原材料の値上げ等で各商材が値上がりするなか、客は1円でも安いスーパーを買い回っている様子がここ1～2か月顕著にみられる（東京都）。
	×	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・前月、前々月に比べて販売台数が激減している。
	×	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数減少のなか、観光など他の需要が伸びているためかは不明だが、新車販売が好調ではなく、先行きが不安である。
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・長期失業者が増え続けていること、新型コロナウイルスの新変異株による感染再拡大の可能性、国の給付金などで維持しているだけで飲食業、旅行業などが自力で回復することは困難であること等、悪くなっていると思えない。
	×	その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	販売量の動き	・半導体の供給遅れによって納期が非常に伸びており、すぐに欲しいという客からの受注がかなり減っている（東京都）。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約83%となり、やや悪い。3か月前と比べても約30%落ちているので、悪くなっている。前月から明らかに来場者数、反響数、商談数が減っており、比例して販売量も落ち込んでいる。ウッドショックの影響で工期が遅れが出たりして、現場の最前線では混乱が生じている。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・清酒製造業なので、新型コロナウイルスが収束の兆しを見せ、緊急事態宣言が解除されたことから、急速に回復している（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年この時期は受注量が増える（東京都）。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・自動車メーカーは海外での部品調達にめどが立ち始め、生産に回復の兆しがある。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・既存客からの受注は減少しているが、新規案件が増大している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月レベルまで回復してきている（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・行事やイベントなどが徐々にではあるが行われるようになり、それに付随する商材が売れ始めている。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・今月に入り、イベント等の動きが活発となり、配布販促物等の案件が増えてきている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑やゴム印、名刺印刷をしている。店頭と、法人の納品とがある。会社の新規設立印の注文が、通常3～4本あれば良いところ、今月は8本あった。業界は主に薬屋で、新店舗のオープンなどで注文をもらっている。問屋への支払も、通常15万円くらいのところ、20万円を超えている。当店は、先立って仕入れるよりも、注文が入ってから動いているので、実際に出た数ということになる（東京都）。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・少しずつ消費が回復しているのか、新型コロナウイルスの影響で中断していた受注が少しは入るようになってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で不安視された売上が、思ったほど落ち込まず、むしろいつもの水準に戻ってきている（東京都）。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・全体的に見積依頼の件数が増えている。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いている影響か、取扱量が一時的に増加している状況だが、これが続くとは思えない。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言解除後から、特に飲食業では来客数が増加している。観光関連の会社でも人の動きが出てきている。運送業は燃料価格の高騰により、まだ厳しい状況が続いている。不動産業は、戸建ては順調に伸びているが、賃貸業はテレワークが続いている関係で伸び悩んでいる。全体的には明るい方向である（東京都）。
		金融業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの収束傾向を受け、業況はやや良化傾向と見受けられる。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍が落ち着いてきて、ホテル利用者が増えてきている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・イベントなど集客を伴う受注業務が一部再開されている（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、人が動き始めている。飲食店でも来客数が増えているが、新型コロナウイルス発生前のようにはない。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の研究会からは良く受注があったが、通常のような活動は行われていないので、それに伴う撮影や研修会の仕事も戻ってきていない（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・依頼件数が伸びている（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・仕事の話があっても、材料等が高くなってきているので、なかなか注文に至らない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止が重なり、受注率が減少し、回復するには難しさを感じる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に大きな動きはなく、新規の話もそれほど出てきていないので、大きくは変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・今月は新型コロナウイルスの影響を最も受けているクライアントが棚卸のため、収支是最悪の状況になっている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、今までのような製造業の技術、設備投資計画が少なくなり、仕事の内容が変わったように感じる。得意先の設備投資計画が少しずつ動き出しているようだが、まだ売上に結び付かず、大変である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・通常であれば、年末が近い忙しはずだが、特にそういう状況にはなっていない。連日ほぼ定時で仕事を終えており、残業があっても1時間に満たないことが多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料高、原油高により仕入価格が10～20%の値上げラッシュとなっている。取引先とも値上げ交渉を行っているが、なかなか認めてもらえない。また、受注はあるものの、原材料不足により生産計画の見直しが続いているため、不安定である。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・私どもの業種は、一旦不況になると回復するのに非常に時間が掛かる。今も全くそのとおりで、新型コロナウイルス禍のなか、なかなか声が掛かってこないで、待っている。
		輸送業（経営者）	それ以外	・大口納品先の閉店、コンビニ向け商材の数量減少など、長引く新型コロナウイルス禍の影響がじわじわと出てきている感があり、師走に向け厳しい状況が続いている（東京都）。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・繁忙期に入ったものの物量が思った以上に増えない。燃料価格の高騰により、収益が伸びない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・飲食店は決算でそこそこの成績を取めているが、飲食店の周辺事業はダメージが非常に大きい。クリーニング店やおしぼり業者等、飲食店の周辺事業者へのご入れ、配慮、経済対策が必要である。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・新築住宅物件を扱っている店舗の話では、相変わらず売行きが好調とのことだが、賃貸を主としている店舗では、相変わらず来客数が少なく苦労しているようである。当社の飲食テナント物件の入居率には変化がない。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスが落ち着いてきているものの、オフィステナントの出勤率にさほど変化はなく、店舗、物販テナントも客足は思ったほど伸びていないようである。つまり、国民のマインドは余り変わっていない（東京都）。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・景気動向に特に変化を感じない（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍は落ち着いたものの、年度内のイベント催事はほぼ中止なので、良くはなっていない。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上は前年比で増加したものの、利益が減少している。宣伝費がなかなか上がらないのが原因と思われる。単価の低い作業が多くなっている（東京都）。
		税理士	それ以外	・近隣駅の商店街の飲食店には客が入っていない。緊急事態宣言が解除されて、大分人も戻ってきていると思うが、その割には戻っていないようである。緊急事態宣言中も関係なく営業している店があったが、以前と比べると今でも人が少ない（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・助成金を活用したい会社が多く見受けられる（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小企業でも、製造業は一部の半導体製造装置関連の部品製造や電子機器関係ではさほど低下していないが、金属部品加工や自動車関係がひどいことになっている。前年来、ボーナスも支給できずにいる（東京都）。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたといっても、人の集まるイベントはまだまだ敬遠されているようである（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は例年より10～15%程度の落ち込みがみられる。当社の受注量も取引先の稼働も思った以上に落ち込んでいる。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・年末に向けて動きが変わるかと思ったが、平常月と変わらない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いてきたと思ったのもつかの間、新変異株の発生が期待した景気回復に水を差した感がある。対応案件の伸びが思わしくない。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・材料が軒並み高騰してきている。あらゆる物が値上がりしているため、客が考え直すようになってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・不動産大手グループのダイレクトメールが盛んになったことを9月度に報告したが、それが更に進み、募集広告を出しているオーナーに直接攻勢を掛けるようになってきている。例えば、2800万円で掲載されている物件に対して4000万円で話を持っていく。誰でも高ければ胸騒ぎする。もし4000万円で売れるとしたら、買取業者が2800万円ですぐ買うと言っても駄目である（東京都）。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・最低賃金の上昇と、それに伴う募集単価の上昇が利益を圧迫している（東京都）。
	×	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料費が高騰していることと、設備投資をする企業が減っている。
雇用 関連 (南関東)		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・飲食店の酒類提供再開や、電車の混雑具合からの判断である（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年末の繁忙期のためか、各社採用に苦戦しており、これまで派遣料金が据置きだった求人企業でも、料金アップに応じているところが増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は3か月前比、前年同月比でも10%強の増加を示しており、堅調に推移してきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・採用意欲が戻ってきており、派遣業務への依頼が増えてきている（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	採用者数の動き	・求人数に関しては、新型コロナウイルス発生前の水準まではまだ戻っておらず、7割程度で推移しており、新たな派遣契約開始も同様の水準となっている。しかし、契約終了を希望する派遣社員が少ないため、派遣労働者数は微増傾向にある（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業からのエンジニア派遣ニーズは高まってきており、少しずつ平常時に戻りつつある。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数の内容が、短期的な期間限定の案件から長期案件へと変化してきており、新型コロナウイルス発生前に入っていた求人の質に似てきたと感じている。
		求人情報誌制作会社（営業）	求人数の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いているため、3か月前と比べて求人数はやや良くなっている。このままいけば来年も少しずつ上向きになってくるのではないかと。小売、飲食店の求人が増えてきていることも大きな要因である。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	求人数の動き	・周辺企業、同業他社及びクライアント全般において、中途採用の求人数が増えているようである。それに伴い、思ったように採用が進まず、新型コロナウイルス発生前と同様の採用状況になっている業種が結構多いように感じられる（東京都）。
		求人情報誌制作会社（所長）	求人数の動き	・仕事が薄く、募集どころか人件費が払えるかどうか分からないと言っていたはずの客が、求人募集を始めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向にあり、特に飲食業の伸びが著しい。一方で、求職者の滞留が懸念される。総合的にはやや上向きである（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・会社の業績や求人状況に変化はなく、自身を含めた周囲の消費動向にも特に変化がない（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人材派遣の依頼は徐々に増えてきているものの、年度末までなどの期間限定が多く、一時的なりソース不足への対処という企業が多い（東京都）。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数が前年並みのなか、新規求職者数は減っているため、求人倍率は改善しているものの就職者数は伸びず、足踏み状態が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・技術系求人は常に多いが、営業などの一般職種には大きな変動はない（東京都）。
		-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	*	*	*

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		スナック（経営者）	来客数の動き	・まだ宴会は余りないので売上ベースではやや厳しいが、フリーの客が戻り始めたことで、少し明るい気持ちになっている。忘年会ができれば良いのだが、少しだけ日常が戻ってきている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が激減したため、旅行のリベンジ需要が動き始めている。県民割引があるので県内からの客の動きが大きい。また、割引はないものの、首都圏からの客も動いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、人の動きが活発になっているのが分かるほど、週末を中心に来客数が伸びている。しかし、法人や団体利用は、以前よりは伸びてきているものの、まだ新型コロナウイルス発生前とは言い難い状況である。ここ1年ほどでは、格段に良くなってきているが、以前のように戻るのはまだ先のようにも感じている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の9月と比べて、一般宴会のデータだが、売上は150%となっている。また、宴会の件数もプラス50件となっている。11月は飲食を伴う宴会が徐々に増えてきている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・前年の秋は来客数が新型コロナウイルス発生前に向けて回復傾向となっていた。今年も来客数は徐々に回復傾向であり、前月よりも新型コロナウイルスの新規感染者数は減少している。それに伴い、景気も回復傾向にある。
		その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は生前予約が多い。直葬や永代供養墓の予約等である。また、相談件数も非常に多かった。年金生活の方が、値上げラッシュでこの冬が本当に大変だということがよく分かる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・今月に入り観光客の姿が多く見られる。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・ここに来て、来店客、売上共に増えている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上は13%減で、来客数は11%減となっている。新型コロナウイルスの新規感染者もいなくなり、イベントも行われるようになってきている。11月末の週末には中学校の部活用の弁当注文を2年ぶりに受けた。担当の先生からは、「水害と新型コロナウイルスの影響で大会が開けなかった」と聞いている。感染拡大第6波が来ず、ワクチンも3回接種すれば、景気は良くなるのではないかと。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・11月は、来客数が前年を超えている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者の減少や年末商戦もあり、やや良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが収まり、外出需要が増えたため、やや良くなっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・全国的に新型コロナウイルスの感染が収まっており、少人数ではあるが会食の機会も増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ、人流が増えてきている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者が減少し、来客数が増加してきている。団体での問合せはまだまだであるが、個人客の量が明らかに増加している。個人型のリベンジ旅行の需要は増加傾向である。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・紅葉シーズンで個人客は増加したものの、旅行会社のツアーは戻っていないため、団体客が少なく、大きな伸びにはなっていない。	
	その他サービス [貸切バス]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、客の動きが出てきている。	
	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・自治体のプレミアム付商品券発行により、商材が多少動き始めたものの、全体的な動きは良いとはいえ、相変わらず厳しい状況は続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲が感じられず、動きも余り良くはない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も、客に大きな動きはみえない。
		スーパー（副店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが2年以上続き、まだ解決策がない状況であり、さらに新変異株が発見され、事態が良くなる見込みがない。景気についても、実際のところ現状維持が精一杯かと思う。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、きっと良い方向に向かうとみている。ただし、新変異株が出てきており、今後どうなるか分からないので、予測が付かない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍での生活が身に付いたのか、余り外出はしない上、スーツへの消費も控えているようである。9～11月は少しは忙しくなると思っていたが、まるで来客数が増えていない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・集客状況は前年比8割で推移している。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者も減ってきて、客の動きは回復基調にある。ただし、原油価格高騰を背景に、消費は節約志向が強くなり、景気は変わらない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・ここ1週間くらい、やや上向きになっているが、先は分からない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・高齢者世帯の保留や解約が増加している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・CMや広告物の効果で多少の反響はあるものの、大規模なイベントはまだ自粛傾向にあるため、大きな集客アップにはつながっていない。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・県下の新型コロナウイルス新規感染者は少なく、天候も安定しているため、最近では平日に年配者のほか、若い方、女性プレーヤーも増えてきている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼はあるものの、なかなか計画が進まない物件が多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、そう簡単には解消されず街への人出は全くない。催事の福袋は人気だったが、街には滞留せず客は福袋を手に入れたら、さっと帰る人がほとんどである。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスもある程度落ち着いてきたので、クラブ活動等も多少は始まるかと期待していたが、感染状況が多少落ち着いてきたのに店に来て買物する客はこんなにも減ってしまったかと思うくらいで、驚いている。早く以前のように戻れば良い。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前月からだが、朝から昼のピーク時間がなくなり、夕方も一時的に良い時間帯もあったのだが、大分減ってきている。客の流れが厳しい状況で、現在はやや悪くなっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響で新車供給が滞っている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、月の目標に若干だが届かない。車両販売は、新車納期の遅れやそれに伴う中古車価格の上昇により販売が伸び悩んでいる。新型コロナウイルスの新規感染者の減少で、車で遠くに出掛けるために、早い段階からスタッドレスタイヤが売れている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・正直なところ、よく分からない。この新型コロナウイルス禍でも、店が増えたりする場所もあったり、いろいろなきがある。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・単価上昇と資材納入の遅れで、工事発注が停滞している。
		×		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）
金属製品製造業（総務担当）	取引先の様子			・半導体不足で、良くなっている。
企業 動向 関連 (甲信越)		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・宝飾関係の様々な催事や展示会で、集客は前年比を大幅に上回ってきている。売上が前年比130%といった催事も珍しくない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・首都圏の新型コロナウイルスの感染状況も沈静化しつつあり、人の動きも大分活発になってきている。来県者も急激に増加し、当社への来場者も戻りつつある。11月3日より県産新酒ワインが解禁となり、前年を上回る出荷量となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて、受注量や新規案件がやや増えている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・今後も、新型コロナウイルスの新規感染者が減少していき、外出や遠出する人が徐々に増えるのではないかと。売上も回復すると思うが、物価の上昇、納期の遅れが心配である。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言解除により、経済が少しずつだが正常化に向かっている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の心配はあるものの、人の動きは活発になってきており、折込チラシの出稿も徐々に回復してきている。旅行の問合せも増えて、通常とはいかないまでも回復の兆しはある。
		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・ホテル等の宿泊関係や飲み屋からの発注が週1程度であったのが週4程度になって、確実に増えてきている。一方、スーパー等からの発注数量は減少傾向にあり、全体的には伸びていない。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦に向け、少しは受注量が上向くものの、本調子ではない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたためか、ワークショップの予約は多少増加している。ただし、製品受注は依然低迷している。
		金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・K字型の回復が続いてきたが、製造業では半導体不足の影響が生じているほか、原材料価格の上昇や品不足で生産ができない状況にある。観光関連は上向きつつあるが、消費者の慎重姿勢が続いており、力強さはみられない。
	x	*	*	*
雇用関連 (甲信越)		-	-	-
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・飲食店に活気が出てきているので、やや良くなっている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息に向かって、人の流れが出始めたため、やや良くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・各企業とも、中長期採用計画がないまま募集活動をしている。求職者もそれを知っているのか、働く意欲が湧かずに単発や短期業務についており、長期の業務につかない方が多いようである。
		求人情報誌制作会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少してきているものの、求人募集には慎重で、募集広告を掲載する企業数は横ばいである。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者の減少により、宿泊や飲食業に活気が戻ってきている。事業所にヒアリングをすると、製造業や運送業を含めた広範囲の業種で、原油価格、金属、資材等の価格高騰の影響が出ているという声を聞くため、変わらない。
	x	-	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・飲食やレジャー関連の消費が大きく膨らんでいる。特に、飲食は週末の夜、レジャーは土日祝で動きが顕著である。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少と関連する規制の緩和による。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・10月の緊急事態宣言明け以降、徐々に客足、売上が回復してきている。10月は買い控えの分大きく回復したが、その反動で11月は若干回復の伸びが鈍化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、来客数が日を追うごとに増加している。今のところ朝晩のピーク時間帯が中心の伸長であるが、おにぎり・弁当・パン類などは、来客数需要を読み切れず早い時間に品切れとなる日も多く出てしまった。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・駅の利用者が増加している。年末が近いためか、客単価も上昇傾向にある。
		コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除から1か月が経過し、来客数も前年比で110%、前々年比でも70%と、ここに来て客足は増加傾向にある。特に下旬の飛び石4連休では、旅行客の動きが活発で来客数、売上共に伸長した。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊予約が実績につながるようになった。
		レジャーランド（職員）	来客数の動き	・平日は学校団体の利用が増加し、前々年の11月よりも高い水準である。個人客は新型コロナウイルス感染状況の落ち着きと連動して新型コロナウイルス発生前の水準に近づいている。宿泊施設はGo Toキャンペーンの再開待ちと見込まれるが、県独自の需要喚起施策には一定の効果が出ている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、人と会ったり会食用の手土産の売上が若干伸びている。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症は収束しつつあるが、まだまだ次が怖い。したがって、家内需要で特に良い肉がよく売れている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除された10月は、シャットダウンして観光客を拒絶していた公共駐車場に恐々とマイカー族がぼつぼつ戻り始めた。11月になって週末ごとに混雑がみられるようになってきた。日を追うごとに増えるのはマイカー客のみで、鉄道利用客はまだ半分程度、観光バスの客は行き先を変更した県内小中学校の修学旅行のみで、一般団体旅行客が安心して来られるのはいつの日であろうか。1日も早い新型コロナウイルス終息が待たれる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、飲食店には少し客が戻ってきている。ただし、長居せずにすぐに帰る。バー、スナックなどアルコール販売が中心の店ではほとんど予約客のみで、どの店でも来客数がゼロの日がある。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・11月は結婚式、イベントやいろいろな企業の行事が行われた。これまでは自粛、中止や延期という状況であったが、今は新型コロナウイルス感染対策をしながらイベントを開催する企業や個人が増えてきたため、若干数字が伸びてきている。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・年度末に向けた残予算の消化がみられる。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	来客数の動き	・しばらく外出は控えていたが久しぶりに買物に来たという客が多い。これまで控えていた分の反動から購買意欲は高いように見受けられる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日の昼間は年配客が多いが、キャスターを持った旅行者や仕事途中の客も少しずつ増えてきた。週末は成人式や大学の面接用にと、家族連れで来店して靴を購入する客が多くなってきた。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、週末の来店客が増加傾向にある。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・百貨店には来店客があり、アイテムにもよるが購入率が上がっている。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスも落ち着き、客足は徐々に戻ってきた。以前は反響が薄かったテナント館の販促施策も、今回は好調である。高単価品も稼働しており、購入意欲が高まっている。
		百貨店（計画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してもしばらくは警戒感が続いていたが、ここに来て来客数も増えてきている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・家族客が多くなり、買物籠の中の商品も多くなっている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の制限解除が購買意欲を高めている。今のところ、食品の値上げも余り影響はなさそうである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・徐々に人の流れも戻りつつあり、前年を上回る店舗が前月よりも多くなってきている。しかし、夜間等はまだまだ人が少ない状況である。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから少しずつだが来客数が戻ってきている。ただ、まだ将来の不安があるため急激には戻っていない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年は前々年と比べて1日当たりの来客数が100人減ったが、今日は、その半分弱の約45人を取り戻した形となった。
		コンビニ（店員）	販売量の動き	・寒くなってきてホットドリンクや中華まんの売行きが良くなってきた。また、くじ商材の発売があり、販売量が増えたように見受けられる。
		衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・外商について、宝飾品の店外催事を開催したところ、集客も当然のことだが客の購買意欲も上がっているようで、比例して結果も良かった。
		衣料品専門店（売場担当）	単価の動き	・寒くなってきて重衣料がかなり出るようになった。前月までは月予算の3分の1や4分の1を達成すれば良い方であったが、今日は半分程度の予算を達成しており、特にスーツなどの販売が多かった。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて、新型コロナウイルス感染も落ち着いているため、客との会話のなかで遊びに行ったとか、どこどこに出掛けたという話題が増えており、消費も上がってきていると思われる。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客との会話で食事、宴会や旅行の話題が増えてきているので、その分車は売れなくなっているが、景気としては良い方向にあるといえる。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・今まで新規の来店客からの受注が少なかったが、徐々に新規受注が増えてきた。他社でも納期が掛かるため流れてきているとはいえ、購買意欲は上がっている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が小康状態になり、年末から年度末に向けた住宅、商業施設などのリフォーム物件が出始めた。また、今まで延びていた物件の商談も入り始めた。
		高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で来客数は戻りつつあるが、人手不足や原材料等の値上がりによる収益減少の回復までには至っていない。
		その他飲食[仕出し]（経営者）	お客様の様子	・最悪な時期は何とか出た様子である。少し明るさが戻ってきた。
		その他飲食[ワイン輸入]（経営企画担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除された後、従来であれば再発出に備えて在庫量を控えめにする取引先が多かったが、現在は在庫をしっかりと持つために購入量が増えている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・10月18日よりスタートした県の観光需要喚起策の効果が11月からかなり出てきており、週末を中心にかなりの客が入った。景気は上向きでやや良くなっている。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・少し客に宿泊してもらえるようになった。
		都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・県の観光振興策の影響を受けて宿泊が増加している。新規感染者数の減少に伴いレストランの利用も戻ってきている。婚礼、法人宴会は、もう少し先になると見込まれる。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も落ち着いていることから個人客が動いている。レストランは、ランチ・ディナーとも個人客が若干戻ってきた。宴会は会議中心で12月の忘年会は鈍いが、全く売上のなかった10月までに比べれば良い。宿泊は、個人客を中心に週末の需要がある。出張も動き始めたが、ホテル間の競争は厳しい。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少し収束に向かっていることが、少しずつ客の動向に影響を与えている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・10月15日より県の観光振興策が実施され、多くの個人客が旅行を申し込んでいる。11月30日までの期限が12月31日まで延長され、期間内は売上が好調になると見込まれる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の劇的な減少により、一部グループも含む個人旅行を中心に、申込みと旅行実施が増えてきている。京都などのいわゆる観光地には、新型コロナウイルス発生前と変わらないほどの人出がある。このまま第6波の到来がなければ更に良くなると思われるが、必ず第6波は来るといわれているので、景気の回復はまだ先とみる。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・客とは旅行に対して肯定的な話題が増えた。実際の申込みは徐々にという鈍い動きと感じられ、回復ムードは都市圏から順に広がると見込んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言中は本当に苦しかったが、解除後は雰囲気が変わって、新幹線利用の出張客も随分増えている。何といてもアルコールが提供できるようになって、夜の街のムードも随分変わってきた。このまま順調に客が増えればよいと期待している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・次年度に向けた機器更改による受注増加が見受けられる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・訪問営業をしていると、客の様子が新型コロナウイルス発生以前のような雰囲気に変わってきているように感じる。多少であるが前向きに話を聞いてくれる客が出てきた。
		テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・予想していた来園者数より多い日が多かった。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の入場者数は、予算及び好調であった前年同期と比べても大差なく推移している。ただし、レストランの売上は相変わらず伸びず苦戦している。8月頃と比べると10～11月の入場者数は順調に増えており、景気は少し良くなったと判断する。
		その他レジャー[スポーツレジャー紙]（広告担当）	お客様の様子	・明らかに周りの雰囲気が良くなってきている。ただし、夜を主体にした飲食業には依然厳しい印象を受ける。
		その他住宅[不動産賃貸及び売買]（営業）	販売量の動き	・入居希望者が微増しているので期待できる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染は収まりつつあるが、新型コロナウイルス新変異株が発見され、客の話を聞いても良い悪いが半々である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・多少客足は戻りつつあるが、見積りや金額交渉をしても商談がまとまらない。消費者は1円でも安く、ネットと天びんに掛けている。
		一般小売店[生花]（経営者）	販売量の動き	・必要な物だけ買う傾向があると感じる。プライダも動き出したが、派手な披露宴はせずに家族だけの食事会で済ませる人が確かに増えている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・おせちやクリスマスケーキなど年末年始に向けての動きは特に良いが、衣料品などの不要不急品については動きが鈍く、寒くなったにもかかわらず消費者の財布のひもは固く、本当に必要な物しか購入しない動きが目立つ。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小の小売店は若干悪く、飲食店は若干持ち直しているという状態で、変わっていない。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・ガソリン高騰の食料品への価格転嫁が多少あったが、買い控えている様子は見受けられなかった。この地方特産である富有柿の発送も多く、順調だった。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・3か月前と同様に売上は前年を割り続け、予算に対しても未達である。良くない状況は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・相変わらず来客数は前年を超えることができない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・11月下旬～12月中旬にかけて市とキャッシュレス事業者とのキャンペーンが開催中で、酒の売上が増加した。少しでも割安に買おうとする消費者がかなりいる。
		コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・11月の売上は前年比97.2%である。県内はコロナ禍が落ち着き活気も戻っているが、小売業の完全復活には至っていない。実績だけで判断すると、3か月前と比較した状況は変わっておらず予断を許さない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・寒くなり来客数は増えてきたが、ほとんどの客が購買に慎重で財布のひもは固い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・客は非常に慎重に買物をし、安くても無駄な物は購入しない。経済活動が回復しつつあるとは実感するが、財布のひもは固く閉ざしている。
		衣料品専門店 (販売企画担当)	販売量の動き	・前月は一時的に売上が回復したが、一部の客の需要のみで全体的にはまだまだ回復する傾向は出ていない。
		家電量販店(店員)	お客様の様子	・前年が巣籠り需要でよく売れたので今年はそれほどでもないが、良い商品が普通に選ばれているので悪くはない。
		家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・来客数及び販売実績において、前年同月を下回る状況が依然続いている。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・半導体や部品不足から新車の納期が延びているが、中古車の値上げなどで収益は確保できている。
		乗用車販売店 (従業員)	競争相手の様子	・今月は判断が難しく、それほど悪くはないが問合せが特段多くもない。同業者の話聞いても同様で、横ばいと判断する。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少とともに、店頭誘致活動に対する客の抵抗感はなくなってきたが、活動を控えている間の客の生活状況をはっきりとつかみ切れていないため、客との関係の再構築が必要と感じる。さらに、客の望む車種には納期の問題もあり、より良い関係を築く必要がある。
		その他専門店 [貴金属](経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても警戒心はまだまだ強いようで、商店街の人流も若干向上したようにはみえるが、日常の外出を控えている人は多い。購買意欲については、余り変化がない。
		その他専門店 [書籍](店員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も少し落ち着いてきたため人出は増えているが、書店ではコロナ禍で一旦伸びた売上がコロナ禍以前の売上に戻ったため、例年よりも1割ほど落ちている。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・マスコミや身の回りの人たちの様子から、若干良くなっている雰囲気はあるが、実際にはまだまだの状況である。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスも少し落ち着いたが、客は今本当に必要な物しか購入しないと感じる。客が本当に欲しい商品作りにシフトしていかなければと考える。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・外出しないことに慣れてしまったのが、来店しなくなった客も多い。
		一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の再拡大を懸念して、客は大人数での食事を控えている。
		一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されてから普通に営業しているが、11月になっても、相変わらず一部のなじみ客しか来ない状況である。
		観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・全社的な売上をみると、前年とほぼ同じ実績で推移している。低く見積もっている予算比では80%近くあるが、前々年比では60%弱のため、3か月前と変わらず悪い状態が続いている。宿泊と食堂の利用は戻りつつあるが、年末年始が稼ぎ時の一般宴会の受注が4割程度では浮上できない。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され規制緩和が徐々に浸透し、観光地などにはぎわいが出てきており、県内割引もあって近場の観光地はその恩恵に浴している。しかし、夜の飲食店の需要は戻っておらず、飲みニケーションがなくても仕事は進められることが分かり、客足が戻らない。
		旅行代理店(経営者)	単価の動き	・緊急事態宣言解除から約2か月で新規感染者数も1けたやゼロに近い状態にもかかわらず、第6波への不安で団体旅行は難しいと言われる。家族や夫婦の個人旅行だけでは非常に厳しい。県民割効果も恩恵が薄い。Go To Travelキャンペーンを期待している客には県民割は魅力がなく、せめて隣接する都道府県で割引になるとうれしいという声もある。県の観光振興策は、高齢者には大変な作業かつ旅行終了後では利用しづらいとお叱りを受け、販売店としても大変である。Go Toキャンペーンの地域共通クーポンのような形で更に還元率を上げて実施すれば、もっと土産を買うと思う。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約者数は変わらないものの、他社転向の解約が増えており、他社の飛び込み営業をユーザが受け入れる環境になっている。経済が動き出している兆しかもしれない。
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスも落ち着いているので今は多少客も動いているが、年末に向けては分からない。
		観光名所（案内係）	お客様の様子	・3年前に来ていた客が来なくなった。皆歳を取ったからと思うが、どこも同様と考える。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて入出はあるが、客の話を聞くとまだ自粛している人が多い。
		美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、家から余り出ない高齢者が多くて駄目である。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・小さな案件ばかりで手間ばかりが掛かり、収入増加にはつながらない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの動向が気になるが、新規感染者数は減少傾向で落ち着いてくると思われる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・緊急事態宣言は解除されたが、飲食店は予約がほとんど入っておらず伸び悩んでいる様子である。年配者は旅行を当分差し控えるなど自粛慣れをしまったのが、景気悪化の最大の原因である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・外出や外食等が以前よりも増えており、週末や夜間の来客数が減少し売上が落ちてきている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・飲食店の復調により、小売業でのごちそう需要が減っている。客単価が上がらず来客数は横ばいで、これまでの反動が出ている様子である。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除に伴い、リベンジ消費も含め外食が伸びて内食需要が低下したことにより、客単価、買上点数が下降してきている。
		スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少とともに、客の意識が以前よりも観光や外食へ向かいつつあると感じられ、来客数の減少が続いている。好調を維持していた総菜の売上にも影響が出ている。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて、内食から外食に戻りつつある。売上の前年比は悪くなっている。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・来客数が前年比1割減少、客単価は2割下落とかなり厳しい。新型コロナウイルス対策の自粛はなくなってくるはずだが、大物が売れない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9月以降、新車の納期が大幅に掛かるようになり、新型車が売れてもすぐに半年以上の納期となっている。納期が掛かるため販売台数も減少しており、キャンセルも出るようになってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体問題や部品供給遅れが長引いており、下方修正した目標の7割ほどしか売上がない。サービス工場への在庫数も減ってきており、予想以上に厳しい状況になっている。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪い。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホームケアキャンペーンで1セットを購入した客が、その後の先～今月に購入がないため、販売量が下がった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・まだまだ新型コロナウイルスの影響がある。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は多少落ち着いても、仕事は暇である。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との会話で景気の良くなる話は全く出てこない。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・借入金の低金利と借入期間の長期化で月々の返済が容易になってきたことを勧めて、新築を促している業者もある。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・問合せは増えてきているものの、銀行の少額ローンも通らないため受注に結び付かない厳しい状況の人がやや増えている。多少なりとも経済的に支援されることを期待している。
	×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は多少落ち着いてきたが、消費はまだまだ下降している。
	×	スーパー（店員）	来客数の動き	・10月以降、特に最近客の入りは少なくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月も新車の納期にめどが立たない状態である。来店客も少なく、市場は冷え込んでいる。
	×	乗用車販売店（販売担当）	それ以外	・半導体不足の影響で客が欲しい車を買えない状況となっている。かなり車のない状態である。
	×	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客が余り来てくれない。
	×	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・大手不動産業者は資本力があり広告費や人件費が出せるため、大手に客が集中して中小の業者は来客数が減ってきている。
		*	*	*
企業 動向 関連 (東海)		化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が抑えられているため良くなっている。約2年ぶりに日常感を満喫するような雰囲気があり、今のうちにと小旅行や買物を楽しむ人が多い。賃貸借物件の募集をみても11月には明らかに多数の引き合いがあり、事業の通常再開が近いと考えている事業者が多いのではないかと。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に3か月前と比べればアップしているが、季節要因も大きいので、余り良くなっていると実感できない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が増加している。ただし、販売単価が上がらない一方で原材料価格は高くなっているため、利益が出ない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・航空業界はずっとどん底であったが、少しずつ受注が計画として上がってくるようになった。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・外出する人が増えている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・半導体や部品の供給不足で売上が下がっていたが、3か月前と比べると15%程度増えてきているため、多少は改善に向かっている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・企業間の物流が前年よりも増加傾向にある。しかし、自動車販売業については、半導体の影響で納車できない状態が続いている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・徐々にではあるが、受注量が増えつつある。客先はどこも新型コロナウイルス発生以前への回復に向けて動き出している。むしろ、これから先に一気に増える対応に苦労することにならないかと心配している。
		通信業（総務担当）	それ以外	・越県の日帰り旅行をしたが、高速道路での観光バスの運行、目的地での団体客、昼食場所での客など多数みられた。サービス業での経済の立ち上がりが確認できた。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・経済活動という意味では、皆、ストレスを分散させるかのように消費に前向きと見受けられる。休日の百貨店の人混み、ランチタイムの混雑が軒並み元どおりとなっている。会社に出勤する人の数は右肩上がり、通勤電車での人との密着が恐ろしいほどである。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・金融関連の業績は上向きであり、景気は上向きつつある印象を受ける。
		金融業（従業員）	それ以外	・休日に出掛けた際の街の様子では、人出が多くなっている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・クリスマスシーズンになりこれまでのコロナ禍でのマイナスなムードから一変し、景気は若干上向きな状況になっており、例年と比べても比較的良好な印象を受ける。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染がやや落ち着きつつあるため、話をしてもマインドが改善されているように感じる。飲食や旅行への抵抗感が薄れている人が増えてきている。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも晴れの日が多いことや新型コロナウイルス新規感染者数も減少し、公共交通機関で外出や遠出をする人が徐々に増加している。売上は前年を上回る状況になってきている。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・問合せが活発になってきた。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・ワクチン接種の進展と新規感染者数の急減で、特にイベントに関わる広告受注が少しずつ増え始めている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞販売店〔広告〕(店主)	受注量や販売量の動き	・折込チラシが徐々に増えてきている。
		会計事務所(職員)	取引先の様子	・飲食店に客が戻りつつある。雇用調整助成金の請求が11月からは不要となったところもある。
		食料品製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に減少が続いている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(顧問)	受注量や販売量の動き	・半導体不足も依然続いており、原油価格の高騰による原材料等の値上げ分を価格転嫁できず収益面を圧迫している状況にある。3か月前と比べて景気は余り変わらない。
		窯業・土石製品製造業(社員)	受注量や販売量の動き	・中国の電力不足に端を発した原料、特に電気で溶かす製品の供給不足の情報が業界内に広がっている。製品が入手できないと製造が止まってしまうため、先行しての注文が増えて残業で対応している。
		金属製品製造業(従業員)	取引先の様子	・それなりに忙しくなっているが、原材料の価格高騰で収益の圧迫が続く。
		一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・部材不足が著しく、物流も不安定であるため納期管理が非常に困難な状況である。納期管理ができないため引き合いに対しても積極的な回答ができず、受注できない案件が出てきた。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注は好調だが、部品供給の要因で納期の問題が出ている。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は少なくなっており、客先の業界でも客足は戻ってきているが、まだ設備投資を復活するには至っていないため、見積書は出しても出荷は先延ばしという状況が続いている。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売上金額は若干増加しているが、これは素材、原材料の値上げによる価格転嫁分のみであり、生産量、受注量共に横ばいが続いている。
		建設業(役員)	受注量や販売量の動き	・住宅販売では他社も苦戦中との情報が多い。新型コロナウイルスの感染が収束気味の昨今でも、来場者数は伸びていない。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で遅れていた仕事をこなしていくだけであり、新規で仕事が発生している状況ではない。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・量販店向けの日用雑貨は、巣籠り需要がなくなり前年より1割ほど物量が減少している。製造業の物量は、新型コロナウイルス発生前と同程度まで回復してきたが、部品不足とのことで製造を増やせない荷主が多い。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はしばらく継続すると見込む。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。
		公認会計士	それ以外	・収益性からみた客先の業績は厳しい状況である。中堅中小企業の従業員の給与・ボーナスは上昇していない。大企業は好業績の一方で、下請先の中堅中小企業はコスト高を価格転嫁できずに苦戦している。中堅中小企業は、コスト高と人件費高騰で収益性が圧迫されている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	受注量や販売量の動き	・定期的に新規、更新の依頼は続いているが、大きな増加とはなっていない。大規模なイベントが開催されていないことが理由に挙げられる。
		食料品製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・原油価格や原材料価格の上昇などコストアップ要因も多く、大きく利益を圧迫している。新型コロナウイルス新規感染者数は激減しているが、市況は依然冷え込んだままのように感じる。
		電気機械器具製造業(総務担当)	それ以外	・通信機器の製造販売でも最近になって半導体不足の影響が出てきた。数品目にわたって品薄若しくは供給のめどが立たない状況になっている。需要は落ちていないが、長期にわたる減産の可能性が出てきており、特に次年度の見通しは厳しい模様である。
		輸送業(エリア担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってきており、出張に出掛ける機会も増えている。主要ターミナル駅の入出はそれなりに増えてきているが、それが経済に結び付いているようには見受けられない。受注量がそれほど伸びていないため、3か月前と比べて毎日の取扱荷物量は下がり気味である。経済の改善状況は、人出だけでは判断できない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・我々の業界は毎年この頃になると非常に忙しくなってくるが、今年は余り良くない。前年の売上が減少したことにより、取引先に余裕がなくなっているため、仕事の発注量が大幅にダウンしている。当社も同じく苦しくなってきた。
	x	*	*	*
雇用 関連 (東海)		人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・主要客である自動車メーカーの請負取引では、引き続き予算削減の動きは残っているものの、削減幅が小さくなってきている。また、派遣の引き合いも、当社の価格帯では取引に至らないことが多いが、ここ数か月の動向と同じように件数は前年より増えている。
		人材派遣会社 (企画統括)	求職者数の動き	・求人数の増加に加えて求職者の動きが活発になり、新規求職者数が前年同期比で増加している。
		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数は3か月前比、前年比共に上回り、前々年比でも90%まで回復してきている。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症による部品供給不足と半導体不足の影響で、当地域での9~10月の自動車製造は2か月連続の減産となったが、11月は増産になる模様である。
		新聞社[求人広告](営業担当)	それ以外	・旅行関連の広告が回復傾向にある。その他の業種はまだ大きな変化がみられない。
		新聞社[求人広告](営業担当)	求人数の動き	・まだまだ本格的ではないが、以前と比べると多少求人の動きが出てきている。休業から復帰した飲食・サービス系企業の需要増加によると見受けられる。ただし、企業側も様子見で本格的な回復までではない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数が前年同月と比べ増加している。輸送用機械器具製造業の主たる業種である自動車製造業の求人数が、前年同月と比べ増加している。新規求人数は、前々年の水準まで届いていないが、本年度に入ってから引き続き増加傾向にある。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・前年同月比で新規求人数が4か月連続増加し、有効求人数についても7か月連続で増加している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数が増加しており企業の採用意欲は高まっているが、新型コロナウイルス発生前の水準には戻っていない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・製造業を中心とした企業の採用意欲の高まりが感じられる。
		職業安定所(次長)	求人数の動き	・職種別に有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、サービス関連等一部の職種で僅かな減少がみられるものの、ほとんどの職種で前年同月を上回っている。全体でも6か月連続で増加し、増加幅も伸びている。なお、前年同月は既にコロナ禍の影響を受けており、前々年同月との比較では依然として全体で大きく減少していることから、新型コロナウイルス発生前の水準には達していない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	求人数の動き	・コロナ禍においての事業を予測しながら、必要な人材の採用への投資に積極的に動いている企業が散見される。
		人材派遣会社(経営企画)	周辺企業の様子	・開発支援のオーダー数は引き続き増加傾向にある。
		人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の拡大が懸念される。
	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・ホテル業界は、少しずつレストランを中心に客足が戻りつつある。	
	人材派遣業(営業担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響は減少気味であるが、原油高によるコスト増加のため、景気回復へのかじを切れない状況である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)		商店街（代表者）	来客数の動き	・週末を中心に観光客が週を追うことに増加している。新型コロナウイルスによる自粛が長引いた影響で、久しぶりに勤務するスタッフの動きが鈍い。前年、売上を底上げたGo To Travelキャンペーンがないため、前年比80%で推移している。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・10月下旬より好調が続いている。新型コロナウイルス発生前と比較してもほぼ同等の来客数となっている。ただし、リベンジ消費的な特需の色合いが強い。
		コンビニ（営業）	販売量の動き	・商品の販売単価が上がってきている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・来客数が回復してきており、外出やイベント催事の機会が増えてきていることから衣料品や服装品など物販の販売量が上がってきている。また、これまで厳しかった飲食店の利用者数も増えており、物販、非物販共に回復傾向となっている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊と会食がセットになった旅行代理店のプランは県民割引と市の助成が併用でき、プランによっては個人の負担が3分の1になるため、家族や企業の宴会などで利用が殺到している。
		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・カニ、ブリなど北陸の冬の幸を求め、11月に入ってから旅行者や出張者が急激に増えている。また、県民割引、Go To Eatキャンペーンなど、自治体の施策もあり、駅周辺を中心に週末はホテルが満室で、平日でも飲食店のランチ、ディナータイム共にコロナ禍前を思わせるほど、人のにぎわいが戻ってきている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・10月1日より緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、8日から県民対象の宿泊割引がスタートしたが、前年比で総売上は50%、宿泊人数は47%、宿泊単価は104%で終わっている。
		都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・平日は修学旅行の団体客、週末は直前に予約した個人客の増加など、旅行目的の宿泊客に回復の兆しがみられ、前月より稼働率が10%以上アップしている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・11月に入り、新規感染者数が減少傾向で収束状態とみられることから、週末を中心に観光客がかなり増加している。緊急事態宣言前の状態に戻っており、タクシー利用が増加し売上が上がっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・入込客は少し回復してきているが、飲食関係で団体客の動きはまだない。寒くなってきたため、冬物商材の動きを期待しているが、天候が今一つ良くないので人の動きも中途半端である。今月末に開催されるイベントによる波及効果に期待したい。
		一般小売店[精肉]（店長）	来客数の動き	・週末の来客数が良くなってきており、平日の来客数がもう少し伸びればという感じである。
		一般小売店[事務用品]（店長）	単価の動き	・購入する商品の単価が上がってきているようにみえる。
		一般小売店[鮮魚]（役員）	販売量の動き	・11月に入って観光客がぐんと増えている。北陸新幹線の半額効果が顕著に出ているようである。さらに、県外ナンバーの車も多く、久しぶりに大型の観光バスも目に付くようになってきている。
		一般小売店[書籍]（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が今のところ落ち着いており、今月の来客数は非常に多くなっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前年11月と比較すると日曜日が1日減り、食品物産催事の月がずれて当月の開催もなく、7月開業の大型商業施設の影響などマイナス要因があったにもかかわらず、店全体では前年比でプラス5%、前々年比でプラス9%の見通しである。インポートの高級時計や皮革雑貨が好調に推移し、全体をけん引している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・感染が一段落し、冠婚葬祭に関連したギフト品やウェアなどの商品が動き始めている。また、Go To Eatキャンペーン食事券の利用が昼を中心に高まっており、レストランフロアが前年のプラス10%で推移している。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・県の大きな消費喚起策により消費者の購買意識が高まっている。通常来店しない若者客、しばらく来店しなかった年配客が新規感染者数の減少による安心感とあいまって多く来店している。この2年程度購入していない衣料品など、商品の買換えや新規購入が増加している。夜の飲食はまだ少ないが、小規模宴会の予約や、ランチは週末中心に多くの客が列をなして食事をしている光景があり、改善傾向がみられる。しかし、来月以降は消費喚起策が終了することや、現在も購入には慎重な行動となっているため、一時的な改善の可能性もある。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・新規感染者数が減少したことにより、買ひだめは減少したものの、通常の買物風景が見られるようになってきている。
		スーパー（仕入担当）	競争相手の様子	・競合店が出店するなかで苦戦していたが、徐々に売上、来客数共に回復傾向である。電子決済のキャンペーンがあり、その影響は客の電子決済の使用割合や取引金額からも顕著に表れている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新規感染者が出ていないため、平日、週末、祝日の全てで来客数や販売量がコロナ禍以前に戻りつつある。ここ2年では一番にぎわっており、売上も一番良い数字で推移している。ただし、コロナ禍前と比べるとやはり減少している。また、最低賃金の引上げによる経費増加を筆頭に大幅に経費が増えており、経営側では利益を出すのが極めて難しい状況である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきたことで、多少は明るい兆しが出ているが、リベンジ消費には程遠い状態である。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・集客は前年並みだが、客単価が上昇している。特に前年の豪雪による影響があり、冬用タイヤを始め冬季用品を購入する人が例年より早めに準備をしている。タイヤは新製品が出ているものの、単価は高くなっていない。今年は雪を心配して新しいタイヤに交換することを最優先し、安価な商品を求める人が多い。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・季節要因もあるが、昼はかなり人が戻っている。夜も人が戻りつつあるようにみえる。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新規感染者数が落ち着き、県民割引や春から延期となっていた修学旅行生などで、来客数が例年の7割近くに帰ってきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県民割引による個人旅行の申込みが増えてきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー運転手1人当たりの売上はますます回復してきているが、新型コロナウイルスの影響でこの2年間で辞めた運転手の補充ができておらず、会社全体で売上は減少している。
		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、個人旅行は徐々に増加している。団体旅行については修学旅行は回復してきているが、一般の団体ツアーやインバウンドが回復していないことから、全体としてみるとやや良くなっている状況である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・地方では新規感染者数がかなり減少しているからか、ここ3か月の来客数は前年から5%程度アップしている。単価の高い商品も売れている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染に落ち着きがみられ、リモートではなく対面での打合せができる状況のなかで、客の動きも活発となり景気回復を感じている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきていることから、来客数は少しずつ戻りつつあるが、完全に収束したわけではないのでまだ力強さに欠ける。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いた感じがする。しかし、今までの経験から用心する意識が高まっており、消費に対してはまだまだ慎重である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・依然として新車の入荷が不安定な状況が続いている。受注客の対応に追われる状態で、売上が苦戦している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・自動車の減産が長引き、受注はあるものの売上に結び付かない状態が続いている。納期遅れによる客の対応に追われている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・Go To Eatキャンペーンの期間が延期になって多少は売上が良くなるかと期待したが、何も変わらない状態である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・当店の界隈では若い人が集団で行き交っており、居酒屋は忙しくなっているようである。しかし、当店の年配客は2年近くの前自粛生活に慣れ、さらには病院への通院などもあり、なかなか来客数が戻らない。厳しい状態である。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・3か月前と同様に、通信、放送共に契約者数が前年同期と同等レベルで推移している。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・当社サービスについて新規契約者数、解約者数に大きな変動はなく、景気の変化は感じられない。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・新規感染者数が0人の日が続くようになって、既存利用者の雰囲気は良くなっているようだが、新規見込み客となるような人の動きは、まだまだ少なく限られている。冬の特別教室の募集を開始しているが、思ったような集客ができていない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅ローン控除の駆け込み需要でまずまずの受注を続けてきたが、この先は今までとは生活様式が大きく変わりそうで不安な点が多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・人出は戻りつつあるものの、財布のひもは固い。衣料品より雑貨を購入するというように客単価が下がっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・スーパーマーケットは前年が良かった分、国内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いている状況では前年比でみると厳しい。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きやGo To Eatキャンペーン等で外食に目が向いている感じがする。特に週末の来客数がやや落ちている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・コロナ禍が落ち着き、巣籠り家電といわれるような商品の売上が悪い。
		家電量販店（本部）	来客数の動き	・前年と比べて非常に厳しい現状である。来客数も単価も良くない状況が継続している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門と宴会部門の売上は前年を下回っている。レストラン部門はGo To Eatキャンペーンの効果があり、売上は前年を上回っており、回復してきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足で端末の納入が必要に間に合わず、予約した商品を渡せないため販売数が伸びない。
		パチンコ店（経理）	販売量の動き	・売上が伸びてこず、逆に減少してきている。
		住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・来客数の低迷が続いている。毎年起こる冬枯れが前倒しになっている印象を受ける。
	×	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・開店から16時頃までの来客数は前年並みだが、夕方以降は流動客となって分散しているため、来客数が減少している。
	×	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・来客数の減少が顕著にみられると同時に、客当たりの単価も下がってきている。
企業 動向 関連 (北陸)		*	*	*
		精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・ばらつきはあるものの、10～11月はこれまでに比べると大手取引先の売上が回復している気配がみえており、当社からの仕入れも増えつつある。
		輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、11月に入って荷動きがやや戻ってきた感じがする。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の進展、新規感染者数の減少等による影響が、販売チャネル構成に変化がみられる。緊急事態宣言下で堅調だった市販用が失速気味一方で業務用が伸長しており、なかでも不振を極めていた外食産業向けの回復が顕著である。
		繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は企業、用途によってばらつきがあるものの、全体としては回復基調にあり、新型コロナウイルス発生前の水準に回復している。ただし、原材料価格の高騰が収益を圧迫している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足等による自動車の減産や原油価格の高騰による輸送コストの増大により厳しい状況が続く。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年同期比では大幅に良くなっているが、受注量は3か月前から落ちつき、横ばいとなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事を主体としている同業他社では、コロナ禍でも経営状況が苦しいという話を聞かない。
		通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して若干販売量は増加しているものの、大きな変化はみられない。補助金等起爆剤になるものがなく、横ばいの状況である。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が落ちつきつつある。取引先も本格的に営業活動を再開しており、ヒト、モノ、カネは動き出しているが、売上等の数字にはまだ反映されていない。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・周囲からは、個人客が交渉に入るのを少し控えているという話を聞いている。また、ハウスメーカーの受注も減少している。
		司法書士	取引先の様子	・新規住宅や事務所、倉庫建築の依頼が多い一方、誰も利用しない建物や完全に負の不動産の相続についての相談も多い。
		税理士（所長）	取引先の様子	・現在、最大の問題は半導体不足に伴い工事業や製造業に関係する部品材料の供給がほぼ止まっていることである。中小企業は、受注はあるが工事ができない、又は製造ができないという非常に厳しい状況に追い込まれている。この状態が更に2か月ほど続くという不安を覚えている。
	x	輸送業（役員）	それ以外	・運送業のため、原油高の影響が大きい。
雇用 関連		-	-	-
(北陸)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規客からの求人数が増加傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・旅行、レジャー業界が動いてきている。ただし、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることが前提なので、一過性のものとみている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パート、アルバイトなど非正規の期間雇用ではあるが、業種を問わず求人広告に動きが出始めているようである。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数に大きな変化はない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは急いで就業を望まない動きがあり、応募者が少ない。募集では給与アップに対応せざるを得ず、人の確保が厳しい状況である。
		-	-	-
	x	-	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	お客様の様子	・取引先の受注量が戻りつつあるほか、休業していた店舗が営業を再開し始めた。直営店でも平日の来客数が増え、土日、祝日は客単価が1割上昇している。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・今月29日までで、全店の来客数は前年比でマイナス2.6%となっているが、売上はプラス3.0%と伸びてきている。特に、当社グループのなかでも都心店舗の回復が顕著であり、コロナ禍の収束と同時に外出の機会が増えているため、今後の期待される。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・8月中旬～9月中旬は、新型コロナウイルス変異株による感染急拡大で、売上、入店客数共に非常に悪化したため、3か月前比では改善がみられる。
		百貨店（服飾品担当）	単価の動き	・11月に入り、新型コロナウイルスへの脅威が徐々に小さくなるとともに、店舗への来店客が徐々に増え、2年前の状態に戻りつつあると感じる。買上単価も高く、我慢してきた分だけ自分への御褒美需要が増えており、ジュエリーやラグジュアリーバッグなどが売上を大きくけん引している。また、若年層の来客が目立っており、売場が活気付いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・特にこの1～2週間は、来客数が新型コロナウイルス発生前の水準に近づいていると感じる。レストランでも、昼間は行列を見掛けるようになっている。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、中間層の現金客による来客数や滞在時間が2けた増となり、売上全体も前年比で15.5%の増加となっている。寒さによる買換え需要もあり、婦人服、紳士服が好調なほか、食品では各社のイエナカメニューの効果もあり、総菜や菓子類の販売が大きく伸びている。また、高額のおせちや年に1度のお歳暮ギフトも好調に推移している。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・10月に緊急事態宣言が解除され、旅行の県民割も始まったので、3か月前とは比較にならないほど良くなっている。ただし、11月もGo To Travelキャンペーンが実施されていた前年と比べると、7割程度の販売量にとどまっている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンの代わりとなる旅行の地域割のお陰で、10月から売上が増加している。前年ほどは良くないが、2年前の90%までは回復してきている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・旅行の府民割の開始時期と、カニのシーズンのタイミングが合い、業界は潤っている。
		都市型ホテル（フロント）	来客数の動き	・大阪独自の事業である、府の観光振興策がスタートし、相当数の予約が入っている。
		都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まった影響で、11月の客室の平均稼働率は60%に近づいた。特に、土曜日や休前日は80%を超えており、人気テーマパークなどを訪れる観光客が増えている。レストランでもランチはリピーターが増え、好調に推移している。ディナーも24日からの府の観光振興策による、宿泊と夕食のセット予約がかなり入っている。
		観光名所（経理担当）	来客数の動き	・8月が緊急事態宣言中であったため、3か月前との比較では上向いている。ただし、コロナ禍以前の8月と比べると、まだ回復しているとはいえない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているため、入客が増えているが、その割に売上が伸びていない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・市独自のプレミアム付商品券の利用が、12月から開始となるため、下見に来店する客が増えている。どの客も結構な金額の商品を検討しているようで、12月からの売上増加が期待される。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上は前年比で15%増えている。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・ゴルフ場や飲食店関係の客が戻っており、少し活気が出てきている。まだまだ本調子ではないが、少し動きが戻っている。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しており、客も安心して店に来るようになった。買い控えしていた客も徐々に着物に興味を見せ始め、購入の動きも見られる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染がようやく落ち着き、発注量が徐々に上向いてきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・コロナ禍の沈静化で、客の来店が増え、売上も伸びている。ただし、期待していたほどの伸びはない。これまで消費を我慢してきた反動が出ると予想していたが、高額品や特選ブランドは順調であるが、全てが順調とは言い難い。不要不急の商品の購入を控える傾向は、更に強まっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・地元客の動きは大きく変わらないが、キャリーケースを持って来店する観光客が大幅に増えている。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・来客数は確実に増えてきている。新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きに加え、11月初旬から集客効果の高いお歳暮ギフトセンターがスタートしたこともあり、日によっては前年よりも10%多い来客数を記録している。さらに、11月半ばより気温が下がってきたため、アウターの動きが好調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・コロナ禍が一旦落ち着き、外出を避ける意識も低下しつつあるため、来客数の増加に加え、滞在時間も延びている。以前のような、目的の買物を済ませてすぐに帰る行動に比べ、ショッピングを楽しむ雰囲気を感じられる。気温も下がってきており、今冬は寒くなるとの予報もあるため、防寒ファッションも順調に動き出している。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も新型コロナウイルスの新規感染者数が少なく、来客数も順調に回復傾向にあるなか、特に婦人洋品が好調に推移している。売上は前年比で約10%の増加と、少しずつ回復している状況である。
		百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・10月と比べても、明らかに来客数が増えている。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や、緊急事態宣言の解除などで、来客数は都市部を中心に急速に回復し、前年の実績を上回りつつある。売上は、ラグジュアリー関連や食品部門は継続して好調なほか、今まで不調であった衣料品の動きが活発で、順調に推移している。また、人気の物産催事や店頭での販売を避け、ネットでの販売を強化している商品は好調に推移している。
		百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着くとともに、週末を中心に来客数が前年を上回るようになってきている。これまでは1～2人の少人数で来店していたが、ファミリーなどの大人数での来店や、遠方からの旅行者なども目立つようになってきている。
		百貨店（販売推進担当）	販売量の動き	・久しぶりの通常の営業で、来客数、売上共に前年比で2けた増となった。長らく苦戦の続いた婦人衣料もようやく回復の兆しがみられる。特に、若年層による高級ブランドの購入がけん引している。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・2018年や19年のコロナ禍以前と比較すると、前月から来客数が増えており、特に後半になればなるほど増加率が大きくなっている。前年は12月に向けて新型コロナウイルスの感染状況が悪化したこともあったが、前年比でも同様の動きとなっている。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・紳士服、婦人服の売上が伸びている。新型コロナウイルスの新規感染者数が抑えられているため、客の外出への気分が高まってきたと感じている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・大阪以外の郊外店では、来客数や売上が前々年並みに戻った。大阪地区の店舗についても、インバウンド関連を除けば、ほぼ前々年並みに戻っている。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるほか、ワクチン接種も進んでおり、観光シーズンでもあることから、来客数、購買意欲共に改善に向かっていると感じている。
		百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてからは、来客数の改善が進んでいる。ただし、ラグジュアリーブランド関連では、首都圏に比べて近畿圏の回復は緩やかに感じる。特に大阪地区は、他の地区に比べて回復が遅いと感じる。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・百貨店の来客数の前年比は、9月がマイナス4.7%、10月がプラス2.2%、11月がプラス2.3%と改善傾向にある。ただし、コロナ禍以前の前々年比ではマイナス15%であり、依然として厳しい状況である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・当店では2か月連続で客単価が2%上昇している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・以前に比べて、旅行用や外出用の商品に動きが見られる。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は下がっているが、来客数に変化はない。客単価の下落分は飲食店に流れていると考えられ、経済全体としては回復傾向が感じられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、来客数が10%増えている。その波に乗って、安売りセールを行っている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて、少し動きが良くなっている。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の解除に伴い、旅行やショッピング、出張が全体的に動いていると感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣企業の在宅勤務者は一定数に達しており、絶対的な日中の労働者人口は低水準となっている。ただし、出社制限を解除する企業も増えており、若干ではあるが来客数の増加がみられる。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はないが、少しずつ新規の客が増えていると感じる。数名の旅行客による来店も増えてきた。近隣のホテルで発行されている、地域振興クーポンなどの利用者もかなり増えている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がかかり減ってきて、外出する人が増えている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べると人流が大きく増え始め、来客数も増えている。前年や前々年と比べても、良い傾向にある。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・コロナ禍の収束による安心感から、少し外出の動きが増え、来客数が多くなっている。ボーナスの支給前ということで、下見の客が増えたように感じる。
		乗用車販売店（営業企画）	お客様の様子	・前月から徐々に来客数が増えている。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店への各種制限が緩和されたことから、飲食店向けの商品は以前よりも動いている。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	販売量の動き	・前月比で来客数、買上点数共に、大幅に増えている。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少による、人出の増加が要因と考えられる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者の減少と、これまでの外出抑制の反動、秋の行楽シーズンの到来効果で人流は増えており、週末を中心にガソリンの販売量が前年を上回っている。原油価格の高騰も懸念されるが、現時点でガソリン販売量への影響は少ない。物価への影響はこれから出てくると予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染予防策もようやく落ち着き、商店への来客数が増えている。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後、売上は前年比で2けた増に近い状況となっているが、特選ブランドの好調に支えられたものである。婦人服や化粧品といった商材の伸び率は僅かで、本格的な回復にはもう少し時間が掛かる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、目に見えて来客数が増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除された直後は閑散としていたが、新型コロナウイルスの感染第6波も懸念されるなか、客足は徐々に増えてきている。客単価もどちらかといえば、やや高めで推移している。予約客が増えてきた一方で、立ち寄り客も多い。徐々に元の生活に戻ってきたという期待が感じられる。
		一般レストラン（企画）	販売量の動き	・8月を底に、売上がほぼコロナ禍以前の実績に戻ってきている。現状、土日の営業は上回っているが、平日の回復が遅れており、あと一歩となっている。
		観光型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束し、府の観光振興策がスタートしている。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・宿泊客が増え、レストランも夕食の客が増えている。酒類の提供についても増え始めている。
		都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・秋の観光シーズンで紅葉が見頃のピークを迎え、週末の稼働は満室近くにまで回復した。京都府の府民割の効果もあり、月間の稼働率も80%程度に回復している。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、徐々にレストランの来客数が増加傾向となっている。ただし、レストランの夜間の来客数は、まだまだコロナ禍以前には戻っていない。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後は酒類の提供が可能になり、レストランの利用が増えている。宿泊の団体予約についても、徐々に催行が始まっている。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減っており、一時期よりも客は戻ってきている。ただし、急激には増えていない。
		旅行代理店（役員）	販売量の動き	・兵庫県の県民割の開始に伴い、県内からの客を中心に、来客数が伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・前々年比で90%程度の回復に近づいている。ただし、今は巣籠りのストレスなどで、外出や飲食に気持ちが向かっているが、それが落ち着けばどちらに転ぶかは分からない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・考えられないほど観光客が増加している。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍の収束傾向により、受注が拡大している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き始めたため、消費マインドが徐々に回復傾向にある。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に減少すると同時に、緊急事態宣言も解除され、観光客にも回復の動きが見られるようになっている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は1万2457円となり、3か月前の1万1889円よりも上がっている。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	来客数の動き	・11月下旬から、来客数が顕著に増えている。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・遠方からの客はまだ多くないが、近隣からの客を中心に、観光客が動き出している。
		美容室（店員）	来客数の動き	・外出の機会が増えたほか、延期されていた結婚式が行われるなど、客の動きが活発になっている。
		美容室（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が少し落ち着き、予約が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が安定してきたため、コロナ禍以前からの懸案事項に対応する動きが出始めている。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場での各社の契約者数は、今期は増加傾向にある。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が沈静化したお陰で、業務の遂行がスムーズになってきた。先延ばしにしていた客の手続きもあわせて、仕事は忙しい。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いているせいも、来客数が少し増えたのに伴い、販売量も増えている。ただし、冬物衣料のシーズンであるにもかかわらず、動きが悪い。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・今年のブラックフライデーのセールでは、衣料品を含めて好調に推移している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、外出や外食が活発になりつつある。さすがにこれまで増えていた内食需要は減少気味であるが、売上は底堅く推移している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて、夜10時以降の客は動き出したと感じるが、飲食店が営業しているため、今までのような家飲み需要は減っている。全体的に来客数は微増で、単価が下降傾向となっている。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・常連客がいつもの買物をしている状態で、まとめ買いなどは少ない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・全体的に大きな変動はないが、夕方からの来客数が減っているせいも、揚げ物の売上が落ち込んでいる。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で生産が間に合っていない。海外からの部品供給の回復が待たれる。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍は収まりつつあるが、原油相場の高騰による影響で、国内の物価上昇が心配である。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	販売量の動き	・コロナ禍からの落ち着きが戻るなか、感染防止関連の商品は余り売れていない。来客数もクーポンがなければ10%減少し、売上も15%の減少となっている。地域限定のキャンペーンも行われていないため、今月はかなり厳しい。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人の流れも戻りつつあるが、来客数に変化はなく、売上も上向いていない。大きな催事では集客ができないため、規模の小さな催事を行っているが、来客数も販売量も微々たるものである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [スポーツ用品] (経理担当)	販売量の動き	・コロナ禍が一段落し、売上が上向いている。ただし、消費者の行動を大きく変える要素に乏しく、まだまだ慎重な消費が続いている。
		その他小売[インターネット通販] (オペレーター)	販売量の動き	・受電数が減少しており、特に受注は激減している。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・11月前半は、当市のキャッシュレスポイント還元のお陰で、来客数は昼夜共に増加した。ただし、11月中旬頃に紅葉が見頃になって以降、人通りはさっぱりなくなった。特に、府の観光振興策が始まってからは、夜の人通りがますます少なくなっている。
		その他飲食[自動販売機(飲料)] (管理担当)	販売量の動き	・販売量は横ばいとなっている。少し活気が戻ってきた様子だが、新型コロナウイルス変異株の発生もあり、明るい材料が見られない。
		旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・10月から緊急事態宣言などが解除となり、ようやく人との交流への抵抗がなくなってくると期待していたが、まだまだ横並びの意識や、本当に交流してもいいのかという不安が強く、なかなか実際の申込みにはつなげていない。Go Toキャンペーンの再開を待つという声も多い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・駅周辺での利用は少しずつ増えているが、ホテルなどの人の動きは余り良くない。街を走っていても、客を余り拾えない状況が続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたものの、まだまだ人流が増えた実感はない。流し営業での営業収入も、コロナ禍以前の50～60%といった低水準のままである。
		通信会社(企画担当)	お客様の様子	・コロナ禍が落ち着き、客の動きは通常に戻りつつあるが、人手不足で採用が追い付いていない企業も多く、サイトの公開を延期してほしいという声もあった。コロナ禍でテレワークへの移行が増えた際は、デジタル関連の需要が多かったが、その流れは少し落ち着いたように感じる。
		住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・建築資材などの仕入原価が上がり続けており、利益率の低い状態はまだまだ改善されない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新築分譲マンションはタワー物件を中心に売れているが、販売価格が上昇傾向にあることから、一部で販売の厳しい物件も出てきている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介] (経営者)	お客様の様子	・不動産価格の変動は余り見受けられない。
		一般小売店[時計] (経営者)	来客数の動き	・9月末で緊急事態宣言が全面的に解除され、人の動きが活発になると予想していたが、当店ではその気配がなかった。大型商業施設や観光地などに人が集まる一方、目的もなく専門店に来ることはないと改めて感じた。来客数は相変わらず厳しく、売上也厳しい月となっている。
		スーパー(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に減り、客の活動範囲が広がったせいか、来客数が減少した。また、前月から様々な商品の値上がり相次ぎ、単価は上がっているが、販売点数は伸び悩んでいる。
		スーパー(店員)	来客数の動き	・もう多くの方が普通に歩いているため、以前ほど客は多くない。買いだめする人も、それほどみられなくなっている。
		スーパー(企画担当)	それ以外	・コロナ禍による内食需要がなくなり、売上は前年割れ状態が続いている。
		スーパー(販売促進担当)	販売量の動き	・各種規制の解除による飲食店の営業再開と反比例するように、首都圏や近畿の都市部を中心にまとめ買いの傾向が弱まっている。それに伴い、来客数は増えているが、客単価が低下している。コロナ禍以前の水準には届かないが、外食需要が回復するなかで、内食、中食需要は減退傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（社員）	競争相手の様子	・今年の後半以降、メーカーや取引先からの値上げ要請が増えている。店頭価格を引き上げたいが、多くの競合店との価格競争が激化しつつあり、売上が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・少しずつ来客数は戻ってきているが、回復の動きは遅い。
		家電量販店（経営者）	それ以外	・東南アジアでのロックダウンなどによる半導体不足が、商品の納品遅延につながっている。その影響がまだ数か月は続きそう、売上が増えにくい状況にある。
		家電量販店（店員）	競争相手の様子	・コロナ禍の影響で入荷が未定であることを理由に、以前では考えられないような価格を客に提示し、売上を確保しようとする量販店がみられる。既に購入した客や、一般小売店にも影響が出るくらいの不当な価格設定には、疑問を感じる。
		家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・巣籠り需要が一段落した影響で、販売量が落ちている。年末年始も、リベンジ消費の動きが家電の購入に向かう可能性は低いと考えている。
		家電量販店（企画担当）	それ以外	・東南アジアでのロックダウンの影響で、設備機械を中心に在庫のない状態が続く、販売の機会損失が続いている。今は年間で最大の需要期であるにもかかわらず、売上の低迷につながっている。
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・住宅ローン減税の駆け込み利用も一巡し、受注は減少傾向である。
		その他住宅[情報誌]（編集者）	お客様の様子	・11月中旬から、週末の観光を中心に人の行動がかなり活発化したことにより、住宅の購入を検討する動きには減速感がある。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数がなかなか戻ってこない。ショッピングセンターはいつも閑散としており、午前中の一部の時間帯以外は、客よりも店員の方が多い日が続いている。
	×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・半導体不足の影響で輸入車が日本に入荷しないため、販売する車がない。
	×	住関連専門店（店員）	お客様の様子	・今すぐを買う客よりも、見に来るだけの客が増えている。
企業 動向 関連 (近畿)		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・納期が延長されていた案件の発注が決まるなど、取引先の動きが活発になっている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、飲食店への人流が増えつつあり、飲料水の売上も少し伸びている。
		繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、動きは多少良くなっているが、今後のコロナ禍の状況次第である。現在は需要期であるにもかかわらず、客の動きは限定的となっている。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が抑えられており、以前と比べて受注量が回復してきたと感じる。
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・電装関連や電子部品関連、半導体関連を中心に、受注が大幅に伸びてきた。また、東南アジアや中国向けの輸出も増えている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に良くない状況ではあるが、3か月前が悪過ぎたため改善する形となっている。8月は東京オリンピックやお盆休みなどで発注量も少なく、工場の稼働時間も短かった。ある意味で、今年度の底であったと感じる。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、緊急事態宣言も解除されたことで、飲食店などの人出が回復傾向にある。これらの動きに伴う受注量の増加により、11月の売上は例月よりも10～15%増える傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月は好調であり、輸出部門が円安の好影響を受けたほか、半導体関係の活況による恩恵も受けている。もちろん不調な部門もあるほか、運が良いだけという不安も拭えない。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・案件は前年比で150%程度の増加となっている。ただし、電子部品の入手のめどが立たず、せっかくの注文も受けられないケースが相当数生じている。
		輸送用機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・搬送設備の新規ラインの引き合いが増えている。また、小規模であるが通信会社の案件が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除となり、業況は良くなってくる。原油価格の高騰による原材料の値上がりなど、マイナス材料は多いが、景気は回復基調にある。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・最近では物販店の賃貸契約が決まるようになってきた。今まではアパレル店などが出た後は、空き店舗となっていたが、ようやく物販店が決まり始めた。そういった動きから、景気の持ち直しを感じる。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏が過ぎた頃から、受注量が増えてきている。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・1月以降の広告出稿は徐々に回復しているが、交通関連の広告出稿は年末まで厳しい動きである。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・駅ナカに限った動きがもれないが、業種による明暗がはっきりとしている。日用品や低価格帯のスイーツ店は比較的好調に推移し始めたが、土産物を扱う店舗は依然として総崩れ状態である。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・休日の人も多く、外食関係は良くなると予想していたが、大きくは増えていない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節や時期を考慮すると、受注量が少ないと感じる。半導体が予定どおりに入荷しないため、納期が延期となるケースが多い。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の工場稼働率が低いと、全体に活気がない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍によって景気はかなり低迷しており、この状況は今月も変わっていない。
		一般機械器具製造業（設計担当）	それ以外	・飲食関連の人に聞くと景気回復はまだまであるが、一般企業の間では兆しがみえてきた。ただし、原油や鋼材などの価格高騰には注意が必要だと感じる。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・洗濯機や冷蔵庫、電子レンジなどは好調であるが、売上全体としては前年割れで推移している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらず建設資材が高騰し、納期の不安定な状況が続いている。新型コロナウイルスの影響だけではないが、今後の見通しも不透明であり、建設資材価格と納期の安定化が望まれる。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・企業の設備投資も助成金頼みの案件が多いため、予定が立てにくい。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いの多い部門と、そうでない部門があるほか、1つの案件が長期化しており、売掛金の回収期間が長くなっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・海外でのロックダウンによって商品の納期が遅れており、その影響が出ている。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・景気の回復が進むのはこれからである。このまま新型コロナウイルスの感染が収束すれば、一気に消費動向は改善するほか、企業業績も上向いてくる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・エンドユーザーを相手にする零細小売業や飲食業は、正に協力金や支援金をかき集めて商売を続けている状態であり、じっと耐えている企業が多い。
		経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きく、なかなか収束しないため、苦しい状態が続いている。特に生活必需品を扱う小売業は、これ以上悪くなることはないが、良くなることもない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・9月に緊急事態宣言が解除され、10月以降は多少なりと動きが出てくると予想していたが、余り動きは変わっていない。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらずイベントの開催には慎重であるため、業界でのイベント需要が回復するのは春先以降になりそうである。ただし、新型コロナウイルスの感染第6波の見通しも不透明であるため、小型のイベントが多く、本格回復は2022年の夏以降になりそうである。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き合いは増加傾向にあるが、材料の入荷遅れなどで受注しても生産ができず、受注残となっている。
		繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・催事の開催が増加している。ただし集客が前年の6割と少なく、1人当たりの単価も下がっているため、出張経費が負担になっている。
		金属製品製造業（開発担当）	競争相手の様子	・中国からの受注が止まっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金属製品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・半導体などの不足による自動車メーカーの生産ラインの停止で、週1日程度の休業を実施する同業者が出始めている。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・生産に必要な材料が入ってこない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響から脱却できていない。
雇用 関連 (近畿)		-	-	-
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、徐々に求人数も伸び始めている。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・梅田や難波などの繁華街や、京都などの観光地では、人の動きがかなり増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・引き続き、20～30代の求職者の動きは活発である。経験のない職種でも、相場を上回る時給で仕事を紹介され、決定するケースが増えている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・3か月前と比べると、新型コロナウイルスの新規感染者数が激減しており、周辺企業も少しずつ動き出したように感じる。飲食店や旅行関係も活気を取り戻し、身の回りの景気は良くなっているように感じる。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・飲食や旅行、ホテル、観光など、コロナ禍による影響を最も強く受けた業界にも、通常の営業が戻りつつある。一部では、今後の人流の増加を見据えた求人も増えつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年比で6か月連続の増加となっており、コロナ禍から徐々に回復しつつある。ただし、2年前との比較では2けたの減少が続いており、まだコロナ禍以前の水準には達していない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年比で増加し、回復傾向にある。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響もほぼ収束に向かっており、周辺企業では景気が回復してきたという声が多い。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求職者数の動き	・来年度の新卒採用に向けた合同説明会などが行われているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってきた影響か、対面イベントや就職ガイダンスも増えてきた。対面イベントへの学生の参加数は、コロナ禍以前と同水準に戻ってきている。ただし、オンラインセミナーに慣れてきた状況では、わざわざ対面イベントに来る意味を明確化し、コンテンツなどでイベントの設定を工夫しなければ、参加動員数を確保するのは難しく、イベントでも明暗が分かっている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ようやくコロナ禍が落ち着いてきたのと比例し、年末や年度末に近づくにつれて、派遣会社は例年の動きに近くなっている。様々な業種から、職種を問わずオーダーが入っており、特にIT関係やリモートでの仕事が増えている。スタッフも地域を考えなくてもよい分、集めやすくなっており、あとは人材の質の問題となっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・各社でスタッフの取り合いになっており、採用がかなり困難となっている。
		アウトソーシング企業（管理担当）	それ以外	・新規の注文はなく、通常の仕事も減少している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた状況であるが、新聞広告の出稿推移をみると、出稿意欲は落ち込んだままである。上半期の緊縮予算などの影響が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月の新規求人数は大幅に増加し、2年前の水準に迫る勢いとなった。特に、製造業や飲食・サービス業の求人に関復がみられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月の大阪の新規求人数は前年比でプラス4.5%と、4か月連続の増加と底堅い動きであるが、製造業は7か月連続の増加となった一方、宿泊・飲食や卸売・小売は2か月連続で減少となるなど、2極化の傾向がみられる。一方、新規求職者のうち会社都合の離職者が減少し、在職者の増加が目立つなど、コロナ禍によって転職を検討する人の増加がみられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・前年度に続き、コロナ禍の影響で対面での学内就職説明会は開催できなかった。ただし、オンラインでの説明会に参加を希望する医療機関が3割増えており、今後の採用につながることを期待している。
		人材派遣会社 （役員）	求人数の動き	・ここ数が月間、前年を上回ってきた求人数の動きに陰りがみられる。
		アウトソーシング企業（社員）	雇用形態の様子	・欠員が出ており、人手不足となっている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・コロナ禍に伴う、給付金申請の書類チェックやワクチン接種の受付といった特需がなくなり、通常の派遣求人のみになっている。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・採用基準に満たない学生については、採用を見合わせる企業が増えている。
	x	-	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)		衣料品専門店 （代表）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いているため、人が徐々に家から出始めている。外出や外食の自粛を解いた会社も多く、来客数も元に戻りつつある。
		高級レストラン （事業戦略担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、消費は徐々に拡大してきている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・宴会利用が元に戻っていないため、金曜日の21時以降の来客数は低迷しているが、アルコール提供の時間規制の解除に伴い、ディナータイムの早い時間帯での家族や仲間など少人数の飲み会利用が目に見えて増加している。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、人出が多くなっている。
		観光型ホテル （副支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や県の観光誘致促進事業の補助金もあり、宿泊の予約が増加している。また、宴会利用も例年並みに回復してきている。
		都市型ホテル （企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少に伴い、平日に関東や関西からのビジネス客の宿泊が増加し、稼働率が90%を超えている。また、週末には家族連れの旅行客も増加している。レストランは個人客を中心にほぼ新型コロナウイルス流行前の状況に戻りつつあり、週末は予約満席の状況が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・県外からの観光客が増加し、観光地へのタクシー利用も出てきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の動きは良くないが、県外からのビジネス客や旅行客がかなり増加しており、売上も良くなっている。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるため、物件の問合せ等も一定数あり、来客数も増加している。
		商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が少しずつ落ち着いてきて、景気がやや良くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたため、来客数が増加し、客単価も上昇している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・業種にもよるが、新型コロナウイルスの影響が少し薄れ、景気は回復傾向にある。
		一般小売店 〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・国内は観光客を含め、人が動き出している。売上も少しずつ増加しているが、今までの前年比マイナスをカバーできるかは分からない。ここに来て、アジア各国のロックダウンが原因で、輸出が悪化している。
		一般小売店〔印章〕 （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなり、プレミアム付商品券の効果もあって、景気は少し上向きになっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、来客数が増加している。特に週末はファミリー層を中心ににぎわいがある。中旬以降は気温も下がり、重衣料などに動きが出ている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、来客数が前年並みまで回復してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・売上が婦人服を中心に拡大しつつあり、前年を大幅に上回り、前々年の実績に迫っている。トラベル用品も好調で、人の動きが活発化しつつある。
		百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、婦人衣料の動きが良くなっている。依然として、化粧品は苦戦しているが、宝飾品は高額商品に動きが出ている。食品については、土産関係の売上が新型コロナウイルス流行以前の水準に回復してきている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に減少したため、来客数が増加し、客の購買意欲も高まっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、週末を中心に、外出や行楽が増え、購買も進んでいる。また、外出帰りに立ち寄る客が増加し、夕方以降の来客数が伸びている。気温の低下で衣料品の売行きが好調に推移し、高単価商品の動きも良く、客単価の上昇につながっている。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・来客数が前年比99%、売上が前年比93%と、売上は依然として厳しい状況にあるが、来客数は戻りつつある。買上点数や購入単価からも客の消費行動に回復の兆しがみられる。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・観光地を中心に週末の人の動きに変化があり、来客数が増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は増加しているが、半導体不足の影響で、車の生産が遅れているため、売上につながるのはまだ先になる。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気は少し良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・冬季商品が売れ始め、3か月前や前年と比べると良くなっているが、依然として前々年よりはかなり悪い。
		その他専門店 〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、観光客が増加している。
		その他専門店 〔土産物〕（経営者）	販売量の動き	・県の観光振興策で、地域共通クーポンを持った県内の旅行客の買物が増えている。宿泊の場合、1人が2000円のクーポンを持っているため、いつもより多くの商品が売れている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が全国的に落ち着いてきており、自粛ムードが徐々に緩和しているため、景気はやや良くなっている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、土日の来客数が少しずつ増加、客の購買意欲も高まっている。ただ、売上は依然として伸び悩んでおり、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していても、まだまだ安心はできない。また、Go Toキャンペーンなどで売上が伸びていた前年と比べると、状況が良くなっているとは言い難い。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の新型コロナウイルスに対する不安がなくなっているようで、利用時も明るく、活気が少し戻りつつある。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・酒の提供の制限が解除されて以降、ここ1年ほど自粛していた客の来店もあり、来客数は増加傾向にある。観光客も新型コロナウイルス流行前ほどではないが増加傾向にある。
		バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気はやや良くなっている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・県内在住者限定の県民割の予約が増加している。また、団体旅行も少しずつ増加している。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・駅周辺やショッピングモールの人出がかなり増えてきている。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・今月は全国的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、定例の神社の神事が重なったことで、県外客が大幅に増加している。また、県や市の自治体支援策の効果もあり、景気は新型コロナウイルス流行前の状況に近づいている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加する気配がないため、個人旅行の受注が増加、団体も振替や延期していた修学旅行が動き始めており、少しずつではあるが、需要が回復している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減し、行動規制等が緩和され、人々の動きが活発になり、街がにぎわっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の街もグループ客が目につくようになり、景気が格段に良くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街はまだ足踏み状態であるが、緊急事態宣言が解除され、全体的に景気が元に戻りつつある。
		放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・延滞数や延滞金額が平常時と同様の状況となっている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、消費者の動きが戻りつつあり、通信では5Gやその端末に関する関心が高くなっている。これまで客が消費を抑えていた分、その反動の消費が少し出ている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客の動きが活発になってきている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・来客数が増加し、前年の水準に戻りつつある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、景気に変化はない。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・前年と比べ、売上が減少しており、依然として買い控えが続いている。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているが、売上にはつながっていない。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・物産展の開催やお歳暮ギフトセンターの早めのスタートで、食品は前年を上回る見込みだが、他の部門は余り変わらない状況である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少している状況で、高額商品に動きはあるが、婦人服の売上は回復していない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円を超える高級時計が3本売れている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前年と比べ、販売量が減少している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化がない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ半年間、来客数が前年をやや下回っているが、販売量が若干増加しているため、売上は前年並みである。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客が必要な物以外は買わない傾向が強く、1人当たりの買上点数が増加しないため、売上が変わらない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・値上がりした商品もあるが、客単価は落ちていない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は回復しているが、売上が回復しない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、来客数が増加している。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・生活必需品はすぐに購入してもらえ、趣味や嗜好に関する商品は今一つである。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は回復傾向にあるが、高額商品の需要が伸びず、3か月前と比べても売上が改善していない。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・依然として、景気は良くなっていない。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・平日だけでなく、土日の来客数も減少している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、来客数は前年と変わらない。新車の納期の長期化で、中古車相場も高騰していて、販売も厳しくなっている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・11月の販売量は前年比90%で、大変厳しい状況である。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・来客数が変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、入出が多少増えているが、客の買物に対する姿勢はまだまだ慎重で、地方の経済が活性化するにはもう少し時間が掛かる。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・海外から帰国後、ホテルに滞在するなどの措置がある以上、旅行も思いどおりにならないため、景気も良くなっていない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、人流が増え、消費に力強さが見受けられるが、物価の高騰で、日常的消費、特に月額利用のサービスを見直す傾向が出ている。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるが、まだまだ様子をうかがっている客が多く、余り変化がない。
		テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する政府の対応が悪いため、景気は変わらない。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・予約状況は徐々に良くなっているが、県外客はまだ少ない。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・売上がほぼ横ばいとなっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・入出は徐々に増えているが、来客数や売上の増加にはつながっていない。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加しているが、契約に結び付いていない。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスや住宅ローン減税の見直しの影響で、引き合いが更に減少している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・前月は新型コロナウイルス禍の低迷から少し脱した感じであったが、今月に入り、再び厳しくなっている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・不必要なものは買わない消費者が増加し、新型コロナウイルス禍の巣籠り需要を含む売上に陰りが出ている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、外食が増加してきている影響もあり、スーパーでの食品購入点数が減少している。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・食品の相次ぐ値上げで、客の購買意欲が減退している状況で、競合他社と客の奪い合いとなっており、厳しい状況である。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・食料品の値上がりや新型コロナウイルスの新規感染者数の減少による外食機会の増加で、来客数が前年を下回り、売上も減少している。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が少しずつ低下している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・原材料や燃料費の高騰に伴い、1月から価格改定するので、販売量が減少する。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス禍で、客が着物を着て外出する機会がかなり少なくなっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少している。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の6割程度となっており、売上も減少している。
		その他専門店 〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・売上が9月から前年比微減で推移している。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・最近、新築に関する問合せが少ない一方で、古い建物のリフォームやリノベーションに少し動きが出ているが、売上は伸びていない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン減税を始めとした税制優遇措置を利用するための契約期限が終わり、客が一息ついている。
		住宅販売会社（営業所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、年末年始に向けて、これまで自粛していた旅行や帰省等は活発になるが、住宅関係への支出の優先順位は低下している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合店の出店の影響が8月でなくなり、9月に入り、売上が回復していたが、9月の終わりから店の前の道路で上水道と下水道の工事が始まり、車の通行量が減少したため、来客数がかなり落ち込んでいる。
	×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客の買い控え傾向が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	美容室（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、髪を切り、外出する人が増加しているが、客の節約志向が定着し、料金の安いクイックメニューを利用する客が多いため、景気は悪くなっている。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの景気がかなり回復してきたことに伴い、忙しくなっている。
		輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・海外向けの受注数量に回復の兆しがみられる。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・データセンター、ICT関連の引き合いや見学が明らかに増加し、需要が高まっていることに加え、取引先の動きも活発化している。
		農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、緊急事態宣言も解除されたため、少しずつ料理屋に客足が戻ってきており、受注にも回復の兆しがみられる。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材の動きが徐々に良くなっている。また、ギフト商戦も出足が好調で、予約が増加している。
		化学工業（総務担当）	取引先の様子	・原油高の影響はあるものの、それに伴う営業活動も活発となり、経済が動き出した実感がある。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大口案件の納期対応で時間外労働が非常に多くなっている。また、生産も鉄鋼業関係の需要の影響で増加している。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・金属価格が高値で推移し、電池材料素材関係の販売も旺盛である。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や東南アジアからの部品の調達の停滞が落ち着き始めたため、客からの受注は最悪期を脱している。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの国内生産は、半導体不足により10月まで通常時から3～4割の減産となっていたが、11月に入り増産体制に戻ってきている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も11月はピーク時の8～9割程度まで回復している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、受注が少し上向きとなっている。
		繊維工業（財務担当）	取引先の様子	・衣料の店頭販売は不振であるが、ネット販売は順調である。原油価格の高騰の影響で、先行きは不透明である。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油高も含め、仕入れコストが上昇しており、販売価格の値上げを進めているが、思うように価格に転嫁できない状況にあるため、景気は横ばい状態が続いている。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注は相変わらず堅調に推移しているが、自動車部品関係の一部に陰りが出てきている。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・鉄鋼業界における足元の荷動きは横ばいである。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・過去3か月、受注量に大きな変化はなく、定時能力並みで推移している。
		一般機械器具製造業（管理担当）	取引先の様子	・素材価格の高騰等の影響が大きく、景気は良くなっていない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5G市場や半導体向けパッケージ基板の需要の拡大に伴い、設備投資が増加していることから、製造装置の受注量が増加し、好調を維持している。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・半導体不足による自動車メーカーの生産の停滞で、自動車関連の受注の減少が続いている。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、飲食や観光関連の動きは鈍く、景気は回復していない。
	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業活動が活発化しつつあり、一時停止あるいは停滞していた間接部門のアウトソーシング業務受託やRPA導入の引き合いが再開している。	
	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・今年に入って、製品価格の値上げを4回実施しているが、それ以上に製造コストが上昇しているため、状況が悪くなっている。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材の価格が軒並み2割程度上昇する案内を目にする。また、鉄骨や鉄筋などの納期も発注から6～8か月の状態となっており、景気は厳しい状態が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べ、乗客数が約3%、成約件数が約7%の減少となっている。
	x	*	*	*
雇用 関連 (中国)		*	*	*
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、前月から徐々に求人や求職が活発になっている。求人側、求職側双方に新型コロナウイルス第6波が発生する前に決めようという意識がみられる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な減少に伴い、県を越えた人の移動が活発になっている。がらがらだった新幹線もここ1か月は指定席、自由席にかかわらず、人が隣に座る現象が起きている。新卒採用は前年より微増、中途採用は通年採用を検討する企業が増加してきている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、医療器具製造業で大幅に求人数が伸びた製造業が前年から3割の増加となったため、全体でも2割の増加となっている。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	周辺企業の様子	・新たに新卒採用を行う企業が出てきている。
		人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・求人数は回復しているが、企業の採用のハードルが依然として高く、採用者数は新型コロナウイルス流行前の7割程度となっている。年末に向け、市場の動きが鈍ってくるため、しばらくは復調の兆しがみえない。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	周辺企業の様子	・半導体不足が地域企業に影響を与え、景気は良くなっていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・業種によって格差はあるものの、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで、前月と比べると、企業活動や求人活動に積極性が出ている。
		職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で11.0%減少している。産業別では、製造業、卸売業、小売業が増加しているが、依然として建設業、宿泊業、飲食サービス業は前年より減少しており、大きな改善がみられない状況にある。
		職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・月間有効求人数は6771件で、前年同月比で8.8%の増加、月間有効求職者数は4004人で、前年同月比で0.3%の増加となっている。求人充足数が前年を下回り、有効求職者数が高止まりのなか、有効求人が大幅に滞留し、人手不足感が続いている。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・残留を選択肢の1つとし、在職しながら転職活動を行うケースが増加しており、転職するに値する求人がなく、転職を断念するケースが多くなっている。景気が上昇する局面では、条件面を含め、求人側が満足する案件がたくさん浮上してくる傾向があるが、現時点ではそこまでは至っていない。
		その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、依然として人の動きが良くない。
		-	-	-
	x	-	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		観光遊園地（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少状態が続く、団体や家族連れでの来場が増加している。
		設計事務所（所長）	それ以外	・食事付きの会合が急速に増加している。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・ほとんどの業種でリベンジ消費といえるほどの大きな動きにはつながっていないが、以前と比べて人通りが増えたと実感している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の激減により、週末の観光客が増加しており、徐々に回復基調にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・平日は人通りが少なく閑散としている場所もあるが、新型コロナウイルス新規感染者数が減少したことにより、週末は夜の繁華街に少しずつ人が出てきている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の沈静化により、外商売上が好調であり、前年同月を上回っている。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少した今月中旬以降は、売上が回復している。
		百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・当県のまん延防止等重点措置の解除に伴い、企業によるマスクアプローチが再開したことで、客の心理が良い方向に変化している。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・客足が戻ってきたとは言い難いが、Go To Eatキャンペーンの一部再開に伴うチケット売上については順調である。たばこ増税の影響も余り感じない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気が少し回復傾向にあり、来客数が増加している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数の増加に加え、客単価が高くなり、業績は回復した。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しており、以前の水準までは回復していないものの、少しずつ来客数が増加している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、人が動き出している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が収束傾向にあり、客足が戻ってきている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、個人の観光客は増加傾向にある。ただし団体客や法人客が戻ってないため回復基調は弱い。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、新規受注が増加しており、ビジネス需要も動き出している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・1日の客単価が10%向上した。また、週末は人出が増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、お遍路の仕事も増加している。週末に外出する人が増えてきており、売上も増加傾向にある。
		通信会社（営業部長）	お客様の様子	・半導体不足で納入数が減っている分、販売が伸び切っていないが、購買意欲が衰えているわけではない。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・ワクチンの2回接種により新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に減少しており、徐々に消費意欲が戻ってきている。レジャーや公営ギャンブルにも人が戻りつつあるが、コロナ禍前の水準までは回復しておらず、引き続きネット経由での売上が増加傾向にある。
		商店街（代表者）	それ以外	・地方を取り巻く状況に変化は感じられない。当地では自治体の街づくりに対する方向性が定まっていないため、駅前の核店舗の再生が進んでおらず、当面のめども立っていない。自治体と民間企業が目指す方向性を共に有し、経済面においても協調し合わなければ容易に進まない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が激減し、飲食店への納品が微増したが、以前の水準までは戻っていない。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除された後から若干伸びが鈍くなってきている。一方、各種食品の連続的な値上げにより、客単価が上昇しているため、売上は減少していない。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数が回復していない。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・前年並みの売上で推移しているが、新型コロナウイルス発生前と比べればまだ客足は鈍く、アパレルの需要も回復していない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・下見に訪れる客が多い一方、季節商材が売上をけん引しており、全体としては現状を維持している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今後新車在庫台数が徐々に改善すれば、今後通常の生産台数に戻る時期は近い。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・半導体不足による生産の遅れが影響している部分もあるが、受注自体は前年と比べ余り変化がない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・売上に変化がない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているが、客の動きは余り変わらない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・飲食業界にてリベンジ消費が加速しており、内食は減少している。
		スーパー（財務担当）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染が沈静化しており、大型商業施設や外食産業に客が流れつつある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・週末は客の活動範囲が広がっており、店舗では来客数が10%程度減少している。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ売上が減少しており、11月では過去最低水準になっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数は収束傾向にあり、人の動きが増えてきたが、当店の来客数は減少している。
		×	コンビニ（店長）	来客数の動き
企業 動向 関連 (四国)		*	*	*
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・第6波の到来を恐れて思い切った仕入れをする小売店は依然として少ないものの、観光地や一般小売店に人出が増えたことで受注が大幅に増加している。
		木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・資材価格の高騰と供給不安があり、販売価格への転化を急がなければならない状態ではあるが、受注量が新型コロナウイルス発生前以上に改善した。
		鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・主力造船関連の受注価格が若干上昇した。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国及び地方公共団体の公共事業の発注並びに受注が堅調であることがベースとなり、景気は底堅い状況が継続している。加えて、新型コロナウイルス新規感染者数の減少が継続していることで、出張や営業活動を始め、地域経済団体等のセミナーや会議などの開催が増えてきており、精神的な景況感の好転が大きい。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上高は通常の半分にも満たない状況であるが、感染症に対する不安感が減少したため、人の動きが出てきている。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先である中小企業経営者によれば、新型コロナウイルスの感染状況の全国的な収束に伴い、消費者の自粛傾向が緩和され、客足が増加している。
		税理士事務所	取引先の様子	・取引先の売上の状況や取引数が増加している。
		農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の販売取引は、低迷が続いている。要因は何か不明であるが、日配品の値上げラッシュや燃油価格の高騰等の影響により、量販店が青果物の売価を故意に抑えていると考えている。需要と供給により価格が決定されていない状況にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国の経済対策により、市場マインドは上向きつつあるものの、地域的なばらつきが大きく、全体として本格的な需要回復には至っていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共と民間共に売上が少ない状況が続いている。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・国内の新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあり、行動規制が緩和されたことで人流も戻りつつある。原材料の調達を感染が収束していない東アジアや東南アジアに依存する第二次産業関連から第三次産業に至る物流は依然として低調で推移しており、依然として取扱物量はコロナ禍と変わらない状況が続いている。
		通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるものの、社外イベント等への参加自粛はおおむね継続している。
	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しており、まん延防止等重点措置も解除されたが、市場の動きは鈍い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は非常に少なくなっているが、客先の販売促進策は慎重であり、引き続き販売促進経費の削減を継続している企業が多いため、現状は余り変わらない。
		輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・一部企業の海外向けの出荷量が増加している一方、依然として国内向けの出荷を行っている企業の動きは低調である。
	x	-	-	-
雇用 関連 (四国)		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少しており、飲食業界では利用条件が緩和され、経済が動き出している。観光客も増加傾向にあり、流通業界ではリベンジ消費と呼ばれる消費の回復現象が起こっている。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・依然として人材確保は難しい状況にはあるが、県内の周辺企業では求人数が業種問わず増加傾向にあり、景気はやや良くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、広告業界ではイベント活動が再開される等、景気は上昇傾向である。
		職業安定所（職員）	それ以外	・高校生の就職内定率が高い水準にある。
		職業安定所（求人開発）	それ以外	・新規求人数や新規求人倍率が上昇している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・学生の内定状況は、前月に引き続き、前年度と同じ高い水準を維持している。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス発生前と比べ変化はない。
		-	-	-
	x	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・サービス業における人材派遣の依頼は増加しているが、求職者とマッチングしない状況が続いている。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・時短営業要請が解除されたこともあり、飲食店向けの販売量が大幅に伸びている。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・3か月前の8月は、豪雨被害や新型コロナウイルスの感染拡大で厳しい状態が続いていたが、数値としては前年同水準であった。それに対し、11月は中核となるテナントが改装に伴う休業をしており、現時点でおよそ9割と売上は厳しい。一方で、10月以降の制限緩和により、行政主導イベントが開催され、消費者心理としても購買意欲が高まっている。改装休業していた中核となるテナントも開店し、全館的にも来客数が多く、にぎわいが戻っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当県では新型コロナウイルスの新規感染者数も激減したため、緊急事態宣言も解除となり、客の来店もかなり多くなっている。新型コロナウイルス感染が拡大する前の状態に近づいている。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・新規感染者数の減少により、外食する客は増加しており、販売量も増加している。しかし、新型コロナウイルス発生前の水準からは8～9割の水準で推移している。
		観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少と秋の旅行時期が重なって来客数が増え、地区内で最近全くみることがなかった観光バスを見掛けるようになっている。
		観光型ホテル（総務）	来客数の動き	・シティホテルの客室稼働率が右肩上がりでも上昇しており、11月の平均稼働率は60%超の見通しになり、今期最高が予測される。ホテル内のレストランも週末は満席状態で、予約を断る状態である。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊とレストラン需要は新型コロナウイルス発生前の勢いを取り戻しつつある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新規感染者数の激減により昼夜を問わず人流が、コロナ禍前と変わらないほど回復している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除により、人流が増え、来客数も増えている。客の心情も変化し、安心して来店しているようであるが、売上にはつながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、安心感から商店街にも客が戻ってきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の全国的な減少で、商店街にも活気が戻りつつある。来客数も通常時の7割程度まで回復している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・緊急事態宣言が解除され、キャンペーンや新規事業が増えている。そのため、印刷や印鑑等の売上が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大していた8～9月よりも若干状況は良くなっているが、商店街への来街来客数は非常に少なく、まだまだ厳しい状況である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・夏場は地元以外の野菜が中心で、単価が高く、暑さによって消費量が少なかったが、現在は地元の野菜が入荷し、単価も安くなっている。商売はしやすい状況である。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・数か月前と比較すると、少し良くなっているが、緊急事態宣言が解除されてもなかなか客足が伸びず、期待していたほどの回復ではない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・年末にかけて、例年どおり正月の縁起物を購入する客が多くなっている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・買物自体を控えていた客や、最低限に抑えていた客が反動で購入している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がない状態が継続しており、来客数が増加傾向にある。気温の低下もあり、防寒衣料や寝具といった冬物商材に対して今まで以上の反応がある。外商客を対象とした家具や宝石等のイベントも前年度の売上を大幅に超え、好調に推移している。
		百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・市内の大型店4店の8月上高は、前年比で93.3%であるのに対し、11月の売上高は、前年比で96%を見込んでいる。また、3か月前との前々年比では5.5%の改善がみられる。ダイレクトメール催事の動因も良くなり、婦人服は前年から2けたの伸びを示している。飲食は依然として苦戦している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ダイレクトメールの抑制を継続しているが、新規感染者数の減少や、物産催事再開効果により、平日や週末共に来客数が増加している。午前重視の来店傾向は継続しており、午後の店頭に来客数や滞留時間は回復傾向にある。感染対策の会場分散、通路拡張で多少の混乱はあるものの、多くの客が来店し、全店への波及効果は大きい。県内旅行やオンライン受注、サテライトショップやギフトショップは好調な販売が継続しているが、外出自粛は続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的に数値は回復傾向にあり、特に衣料品関連の動向が上向きになっている。要因として、新型コロナウイルス感染率の低下により、客の行動範囲が拡大している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・食品物産展や衣料品特売等、イベント集客力が上がっている。これまで抑えられていた購買意欲が一気に放出されている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新規感染者数も大幅に減少し、来店客の利用状況も変化している。今まで取り扱っていなかった野菜や果物、冷凍肉等を大幅に品ぞろえしたところ、主婦層の客が増加している。中食も増加しているが、スーパーマーケット感覚で生鮮食品の売上も大幅に増加している。今後この傾向が進んでいく。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、企業のテレワーク比率が低下し、会社に出社する人が若干増加している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、様々な活動制限が緩和されたことで、外出する人が明らかに増えている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・人流は、行動制限があるものの戻りつつある。通勤通学での買物利用は増加しており、おにぎりや菓子パン、ファーストフードの販売が新型コロナウイルス発生前の売上に戻っている。在宅需要の商品は緊急事態宣言の発出時より減少するが、イベントの開催により移動中に消費するドリンク等の売上は伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店長)	お客様の様子	・前年のGo To Travelキャンペーンの効果ほど回復はできていないが、ホテル集客が増えており、特に家族連れの外出が目立っている。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、また、自治体からの補助もあったことで、11月の来客数が多少増え、売上も少しずつ増加している。
		衣料品専門店(店員)	お客様の様子	・新規感染者数が減少したため、食事会や旅行用の洋服を求めて、来店する客が増えている。
		衣料品専門店(総務担当)	お客様の様子	・3か月前と比較すると、来店客の購買意欲が高まっている。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が急激に収束している影響もあるが、来客数が確実に回復している。
		家電量販店(従業員)	来客数の動き	・レジ通過来客数は前年比103%である。前年は日曜日からの始まりのため、これを考慮すると約106%に相当する。
		乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・メーカーからの新車の供給量が3か月前よりも増えている。まだまだ平年並みのレベルではないが、最悪の状態は脱している。今月の経常利益は黒字を確保できる。
		その他小売の動向を把握できる者[ショッピングセンター](統括者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いており、緊急事態宣言も解除されたため、人の動きが良くなっている。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、当県は新規感染者数がない日が続いている。旅行者や地元客も来店が増加し、少しずつ店はにぎわってきている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除となり、夜の街に人が戻っている。解除直後はにぎわいをみせたものの、2週間ほどでそれも落ち着き、客足は減っている。
		旅行代理店(職員)	販売量の動き	・3か月前の緊急事態宣言の発出時と比較して販売量は増加したが、新型コロナウイルス発生前の水準には戻っていない。
		タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減し、人の動きが増え、売上は新型コロナウイルス発生前の7割ほどまで回復している。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・光回線の提供エリア拡大により販売量が増加している。
		ゴルフ場(従業員)	お客様の様子	・ゴルフ関連商品の購入や、飲食の品数が増えている。
		競馬場(職員)	来客数の動き	・経済活動が少しずつ再開している。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は低迷しているが、新規感染者数が減少し、少しずつ景気は良くなっている。
		美容室(店長)	来客数の動き	・3か月前の売上は非常に悪かったが、今月の来客数や売上はやや増加している。
		その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	お客様の様子	・今後の季節要因によるサービス中止は考えられるが、新型コロナウイルス新規感染者数の大幅な減少と、3回目のワクチン接種の計画報道が安心感につながっており、前年と比較すると利用者数が大きく増加傾向にある。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・分譲住宅の住宅ローン控除期間13年が11月末までという契約条件もあり、分譲住宅の販売数が伸びている。
		住宅販売会社(従業員)	単価の動き	・緊急事態宣言が解除となり、街中の人通りも増加し、夜の飲食店も営業を再開し、集客をしている。3か月前と比較すると、商店街の人通りが増え、景気は良くなっている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきたが、必要な食品だけを購入する状況が続いている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数の前年比が、数か月間減少が続いており、景気は一向に良くならない。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しているものの、まだ高齢者は近隣のスーパーマーケット等で買物をしており、商店街にはなかなか足を運んでいない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・新型コロナウイルスも終息しつつあり、日々気温も低下しているため、売上は増加するはずだが、外販での売上は緊急事態宣言中と変わらない。事務所でのお茶出しがないこと、在宅ワークが継続されていることが原因である。現状はとても厳しい。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が小康状態を保っており、売上の増加に期待していたが、それほど増加していない。前年はGo To Travelキャンペーン等の各施策が盛り上がっていたが、今年は、外出自粛や買物を控える状況が当たり前になっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数激減で人流が多くなり、飲食業やサービス業での消費が増えている。しかし、問題は物価上昇により、買い控えが出ており、生活防衛意識の高まりを実感している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後、都市部は売上が戻っており、前年の巣籠り消費で大きく伸びた郊外の売上が落ち込んではいないが、全体では落ち着いている。少しずつ寒さが本格化しており、鍋物商材等の季節商材が伸びている。
		スーパー（統括者）	単価の動き	・前年が苦戦していたこともあるが、今年の11月の点数は横ばいであるものの、1品単価の増加による客単価の増加もあり、売上は前年と比較して良い。部門ではインスタアベカリーや総菜が好調である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、客の動きの回復は鈍く、来客数の減少が解消されてない。客単価の上昇により、売上としては前年水準並みには保たれているが、期待値には程遠い。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くにつれ、夕方の来客数及び客単価が減少傾向にある。家飲み需要の低下が一因である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減っているが、まだ消費動向には反映されていない。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・客の回遊性は余り変化がないが、8月と比較すると冬物衣類の値段は高いため、1点当たりの客単価が上がっており、売上は増加している。しかし、景気が良くなっているわけではない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・生産状況が悪く、受注しても納期に時間が掛かるため、すぐに成約することができない状況である。
		乗用車販売店（代表）	それ以外	・コロナ禍の影響により、景気は悪くなっている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・都市部でのキャンペーンでは、来客数は少ないものの成約率は上昇しており、売上は前年並みである。店舗での売上は、月前半は好調であったが、後半は減少している。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	お客様の様子	・前年比と比較すると、来客数に変化がない。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は新型コロナウイルスの新規感染者が出ておらず、少しずつ予約が入り、1～2か月前と比較すると、景気は良くなっている。ただ、前々年と比較するとまだまだ追い付いていない。新型コロナウイルスの感染が収束していくにつれ、予約数が増えていくことを実感している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較しても変化がなく、自粛が長期間にわたったため、美容業界の動きが非常に悪くなっている。年末の販売量と客の動きに期待している。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・派遣している従業員の雇用止め等があり、周りの景気は良くなっていない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が極端に落ち着いており、これまでの巣籠り需要の反動で来客数が減少し、売上が前年比減少となっている。
		コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、夕方から夜にかけての来客数や売上が若干減少している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・11月は自動車業界の動きは鈍い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（統括者）	販売量の動き	・11月の携帯電話の販売台数見込みは、前年同時期を下回る予想であり、計画値に対しても下回る見込みである。商業施設でのイベントや店舗のスマートフォン教室開催等により来客数の増加を促しているが、前年を下回る見込みである。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・来場者数が減少している。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・大型家電も小型の商品も余り売れておらず、かなり売上は悪い状況が続いている。
	×	設計事務所（所長）	単価の動き	・木材や鉄製品等の材料費や人件費の上昇が続いており、同時に生活必需品の値上げも相次いでいる。それに対して、売上の収入は上がっていない。
企業 動向 関連 (九州)		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことで、経済が回り始めている。急に物量が増えている荷主もある。しかし、反動で爆発的に売れているわけではなく、コロナ禍で家計に与えた痛手は大きい。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・今月は、新型コロナウイルスの感染がほぼ落ち着き、人の動きや交通量が1～2か月前と比較すると非常に良くなっており、経済的には景気は戻ってきている印象を受ける。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9～10月は厳しい状況が続いたが、11月に入り、新規感染者数の減少もあり、外食が少しずつ戻っているものの、2年前の繁忙期には届いていない。大手加工メーカー向けも年末年始用の生産を始めたことにより、注文が増加しており、在庫も夏に比べると20%減っている。しかし、量販店に今までのような勢いがなくなっている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・繁忙期のため、製造、販売共に上向きになっている。
		金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・引き合いや受注共に良くなっているが、材料費の高騰や納期が間に合わない事態が発生しており、発注及び納期が延期状態である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体の動きが良くなるにつれて、製造業も少しずつ動き始めている。今後、景気は上向きになる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関連企業からの受注が増加している。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・新型コロナウイルス終息の雰囲気が出ており、出張等も増加している。
		その他製造業 [産業廃棄物処理業]	取引先の様子	・生産量が増加し、更に増産傾向にある。今のところ、価格も安定している。
		通信業（経理担当）	取引先の様子	一時的な動向である可能性はあるものの、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にある。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・スーパーマーケットやコンビニエンスストア、百貨店の売上は持ち直しており、自動車販売は生産面の制約から伸び悩んでいるものの、家電販売も持ち直してきている。また、旅行業やホテル、旅館、飲食店等は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したため、厳しい状況は続きながらもやや改善している。
		金融業（営業）	取引先の様子	・水準は高くはないが、良くなっている。新型コロナウイルスの感染が落ち着いていることが最大の要因である。製造業から小売サービス業まで全体として良化している。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除と新規感染者数の大幅な減少により、人流や消費動向は良くなっている。しかし、中小企業は忘年会等を自粛しており、状態は良くなりつつも、経営者の心情としては前向きな気持ちではない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・自動車の生産台数が減少しており、関連する部品メーカーは資金繰り等の負担が大きくなっている。一方、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、国内では落ち着きが見え、人の流れが活発になっている。そのため、飲食や観光、輸送ビジネス等人流に依存する業界では回復がみられる。総合的には3か月前よりも良くなっている。
	新聞社 [広告] (担当者)	受注量や販売量の動き	・施設の新装開店、新施設の開店等の広告の動きがある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・飲食店の来客数が増加し、業務卸への注文が以前より倍増している。倉庫内の在庫も増えている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先の売上や受注状況によると、好調な企業が増えている。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除から1か月が経過し、徐々に商談も増加しつつある。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体製造装置産業で受注が増加傾向にある。一方、自動車産業は受注量が減少傾向であるため、全体としてはそれほど変化はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多くの注文を受けているが、原材料や資材の品薄、高騰の影響が徐々に大きくなっている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末に向けて輸送商品の取扱は微増であるが、食料品を中心に新型コロナウイルス発生前の水準にはまだまだ到達していない。同業者の話でも、半導体不足により家電を中心に在庫が減少しており、企業によっては新しい事業を立ち上げ、収益確保を実施している。
		輸送業（従業員）	取引先の様子	・健康食品や化粧品とも横ばいである。特に変化はなく順調である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、飲食店の忘年会や新年会の予約は徐々に増加しつつあるものの、少人数で短時間が主流であり、新型コロナウイルス発生前の大規模開催の動きはほとんどない。原油価格の高騰は、物流や運輸業界、また、ボイラーで大量の重油を使用するハウス農家にとっても、今後の大きな不安材料となっている。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が9月末で解除されたことにより、少しずつ受注量が戻りつつあるものの、3か月前と比較すると現状では変わっていない。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・売上傾向が低位で安定しており、現状打開のために様々な仕掛けを試みてはいるが、採用されない。
		経営コンサルタント（社員）	それ以外	・同業者間の情報交換によると、目立った動きがない状態である。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・例年、官公庁の新年度に向けた繰越し工事の発注がある時期であるが、工事情報が全くなく、特に公共工事の予算は厳しい。加えて、民間工事も見積依頼が全くない状況である。新型コロナウイルスの予算だけではなく、公共工事にも補正予算確保を望んでいる。
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村が発注する調査や計画策定支援の委託業務で、企画提案方式で委託業者を決める場合があるが、他社の提案では仕様書にない他の業務も抱き合わせで行うことを提案することが多く、市町村は経費削減のためにそれらの提案を採用する傾向があり、仕様書に沿った提案では受注が困難な状況にある。
	×	繊維工業（営業担当）	それ以外	・賃金が上がった分、工賃が上がらなければ採算が取れないが、上げることができず深刻である。政府の意図どおりにならず、やはり下請が苦しむ状況にあり、この賃金の上がり方では、あと何年もつが危惧される。
雇用 関連 (九州)		*	*	*
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・緊急事態宣言の解除でイベントやパーティー司会の依頼も増えている。また、新型コロナウイルスの影響で、人員削減をしたことによる取引先の人手不足の派遣依頼が増えている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・各業種から求人に対する問合せが増えている。派遣にとどまらず、直接雇用を前提とした人材紹介や紹介予定である派遣の問合せも入っている。社員欠員の不補充枠に派遣を登用する機会が少し戻りつつある。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人に対する問合せや応募数が2割程度増えている。派遣社員だけでなく、直接雇用希望者の問合せも多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・緊急事態宣言解除後の動きが期待したほどではなく、まだ慎重である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言も解除され、広告出稿量の景気は上向いている。人が動くようになることでイベントの再開もあり、関連の新聞広告が復活している。全般的には回復しているが、旅行広告については、Go To キャンペーンの再開を待つ動きもあり、若干動きは鈍いが、需要の先送りであり、回復基調であることは間違いない。ただし、求人広告については、力強さが無い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いており、人出が回復している。飲食店も大人数での宴会はないものの、個人、家族客でにぎわっている。新聞に折り込まれる広告の枚数も増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数や新規求人数共に前年比で増加が続いている。また、有効求人倍率も前年比を上回る月が続いている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスも一旦落ち着き、前年と比較すると採用継続中の企業が多く、業種に偏りはあるものの、求人数は増えている。ただ、4年制大学や大学院では求人数は増加しているが、資格系の職種を除くと、短大の求人数は全体的に厳しいため、全てが良くなっているわけではない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金でやっと経営を維持することができている。現在、新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いているが、いつ再び感染拡大するのか予測が付かないため、客は慎重に様子を見ている状況である。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・内定状況は、前年と比較して若干良くなっているが、現在も就職活動を継続している学生が一定数いる。ただ、求人依頼件数も一定数あり、年間を通じた採用活動を行う企業も前年度と比較して増えている。また、2023年卒採用に向けたインターンシップを実施する企業も前年度と比較して増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・飲食店の来客数や旅行者も増えているが、21時以降の公共交通機関の本数が削減していることで、夜は人の帰宅が早まっている。飲食店も22時以降は閑散としている。
	x	-	-	-

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)		一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数も少なくなり、飲食店も開いているので商品販売量が増えている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・今月は大型物産展の中止があったものの、客向けの特招会や月末のブラックフライデー企画等で動員が図れ、衣料品や服飾雑貨の商品動向が良い。要因として、新型コロナウイルス新規感染者数減少と気温の低下による後押しがあるとみている。
		コンビニ（副店長）	来客数の動き	・売上数値も来客数も目に見えて良くなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・夕方から夜間の来客数が増えてきている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・11月に県独自の措置が解除されたので、このお陰で少し売上が戻っている。
		その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・前年の同月よりかなり良い数字になっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除になって、反動でかなり入客があると期待していたが、週末は例年の7割、平日は解除前と余り変わらない。徐々に増えてきているが、生活様式が以前とは変化している。ステイホームスタイルの定着と団体での飲み会が激減している。テイクアウトの数も減ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・緊急事態宣言下であった3か月前と比べると客は増えてきている。稼働率は、8月が15%、9月が9%だったものが、11月は35%まで回復している。ただ、2019年と比べると当時の半分程度である。売上は、単価の低下と団体がないことから40%である。飲食に関しては、昼の会議や会食は増えてきている。ただ、夜の宴会などは0ではなくなったが数件とまだ少ない。2019年の昼夜合計の売上の30%程度である。
		旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除とともに出張、旅行等の需要が少し上がってきている。それでもまだ6割程度の回復である。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除で動きが出てきている。
		住宅販売会社(役員)	お客様の様子	・今まで対面を控えていた客からの土地活用相談や売買相談など対面での相談も増えてきており、より具体的な内容に進行している。
		スーパー(販売企画)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染が落ち着いて、郊外の大型店で集客が出ている状況のようである。その影響で地域スーパーでの販売量が落ちてきていると予測している。来客数の減少と販売量の減少で今月の売上はやや厳しくなっている。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・レンタカー会社の動きはまだ弱い。プレミアムブランドの受注は好調である。
		住宅販売会社(代表取締役)	お客様の様子	・投資案件に関する建築相談の件数が減少傾向にあり、それに対する金融機関の融資スタンスも厳しい。
		スーパー(企画担当)	来客数の動き	・来客数が週末を中心に減少しており、郊外型総合スーパーに客が流れている。また、買上点数、客単価も比例して減少している。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・販売数が前年比で80%と落ち込んでいる。来客数の減少もみられ、コロナ禍で来店せずに済むWeb手続が浸透しているのも要因と考えられる。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチンが効いて、規制も緩んでいるので来月から多少だけ良くなるのではないかと考えているが、現実的には客が店離れをしていて、まだまだ大変厳しい状況下にある。
	×	観光型ホテル(企画担当)	販売量の動き	・ホテルの8月の販売室数が前年比22%減少なのに対し、前年実施されたGo Toキャンペーンの影響から、11月の販売室数は前年比68%減少とマイナス幅が大きくなっている。
企業 動向 関連 (沖縄)		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・具体的に建築を計画する客の来客が増えている。資金にも問題はない。
		食料品製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・観光関連、ホテル等、業務関連の売上回復が顕著にみられる。
		窯業土石業(取締役)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除後、見積りは民間工事部門が若干増加傾向にある。
		輸送業(経営企画室)	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除、規制の緩和と本来の状態に戻り、各納品先の発注が元に戻りつつある。家具や家電等の受注数は減少しているが飲食、観光は戻ってきている。
		会計事務所(所長)	取引先の様子	・緊急事態宣言は明けたが、消費者、企業も経済活動に対して慎重になっているとみられる。
		輸送業(代表者)	受注量や販売量の動き	・生コンやアスファルトの骨材として、宮古島は碎石と砂のほとんどを沖縄本島から調達しているが、石垣島の碎石は島内産が主流で、砂についてもフィリピン産が主流のため、石垣島の需要は宮古島や他の離島に比べ、内航にとって影響が少ない。
		×	-	-
雇用 関連 (沖縄)		人材派遣会社(総務担当)	求人数の動き	・求人案件数が増加している。
		求人情報誌製作会社(営業)	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除された後の、急激な求人数増加があった前月と比較すると求人数は減少しているが、宣言中であった3か月前の8月と比較すると求人数は多くなっている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・ホテル、レストラン等の求人数が増加している。
		学校[大学](就職支援担当)	周辺企業の様子	・2022年3月卒の新卒採用を一段落終え、2023年3月卒対象の新卒採用についての相談がある。企業活動がかなり先を見据えたものとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・3か月前と変わらない程度で求人数が動いているようにみられる。
		-	-	-
	x	-	-	-